京城日報

本紙定價 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

七月二十七日夕刊（朝夕併せて八頁）

○明年度の豫算
殖産銀行と內地の氣受
鈴木度支部長官談

殖産銀行設立の要務を主とし併せて中央政府と大正八年度の豫算編成に關する打合せのため東上中なりし鈴木度支部長官は二十六日夜歸任した、多少結果の案ぜられし殖銀株式の公募成績は非常の盛況に終つたので、長官の肩身は決して狹くない。車中談に曰く

▲伸力ある豫算 明年度豫算の打合せは大體だけを終へて來た、政府の方針は必ずしも支出を緊縮し新事業を手控へよと云ふわけではないが時局もかゝる際であるから十分伸力に富む編成をしやうと云ふにある樣だつた、又內外の形勢は前途の變轉をいかに敵にいかに重大ならしむるか今日に於て素より想像もつきにくい、從つて將來の變故に際し十二分に對應して行けるやうに國力の涵養を必要とするとの意見も有力方面にある

▲朝鮮の豫算 總督府の特別會計豫算も大正八年度から一般會計の補給を絕たれ、豫定の如く財政は獨立するわけである、編成の順序は目下出揃ひ居れる各部局署の豫算編成資料が大略月末までに纏まるべく上旬中に一應の査定を終り中旬までに概算を編成して總督の認可を經次第、昨年の如く九月十五日までには中央に送りたいと思つてゐる、そのいかなる新計畫を有するかは予も未だ概算編成資料を見ないので分らぬが、各部局の要求は數に於ても又內容に於ても隨分豫想外なものがあるだらうと思はれる

▲首相と總督 中央は出兵問題も米國の回答を待つと云ふ風で爲渡落ちつき氣味である、寺內首相は歸鮮前官邸にお訪ねしたが甚だ元氣で到底病後の人と思はれぬ程快復されてゐる、殖産銀行には首相も大分氣をかけてゐたらしく株式公募の優良な事を喜んでゐられた、又長谷川總督は編成すべき明年豫算の關係もあるから何か事變を生ぜぬ限り八月上旬遲くも中旬までには歸任されるであらう

▲殖銀株募入法 殖産銀行株式の公募は當初東京銀行家中に悲觀說もあつたが事實は既に公表されし如く三百倍と云ふ稀有の好況を呈した、殊に朝鮮に於て十數倍約百三十萬株に及んだなどは予等も聊さか驚いてゐる、從つてその割當をいかにするかは何れ來月上旬までに決定ねばならぬが大體按分による以上三百株以下の申込みは切りすつるの外はあるまい、コレは朝鮮內の如き折角多數の申込みを見たに拘らずその多くを寡入外れとするのは甚だ遺憾であるが事情止むを得ないであらう

▲殖銀の氣受 自分で內地に行つてやつた成績を事々しく吹聽するのも變だが、殖産銀行位創立の際天下の新聞紙に後援され報道されたものは恐らく未曾有であらう、あれで殖産銀行と云へば一流銀行として北海道の關に行つても十分認められる、事となつた、又今回內地の現物團や資本家と屢々會見して色々の意見を聽いたがそれらの人々は朝鮮の事業界に大いに注目し同じ投資するなら朝鮮の如き新領土にと云ふやうな一種の趣味を有してゐる事も瓜見はれた、兎に角殖銀株式公募成績の盛況は獨り殖銀のみならず今後

▲朝鮮の新事業 のために內地財界の注意を向けたと云ふ事に於ても有効である、それから一株式店主の話しに今度殖銀株應募者には特異の點があつた、と云ふのは興債の公募やその他有力銀行會社の株式募集に容易に見る事の出來ぬ華族や官吏の應募が多き事である事と云つてゐた、コレは正に勝田大藏大臣の如き雙手を擧げて殖銀の設立を賛助され聲援された賜であらうと思ふ

▲鮮銀と殖銀 殖銀の經營漸進につれ朝鮮內に於ける鮮銀の地方的支店出張所は漸次その行務を殖銀に讓つて行くと云ふ事は政府も鮮銀も既に了解してゐる、唯その時期がいつであるか、又いかなる土地より先づ實行して行くかは今後の問題であるが、要するに釜山とか平壤とか云ふやうな地方的でない土地で、鮮銀殖銀兩店の併設を見てゐる所から實行する事とならう

○墺國の意氣
對聯合國側所感

七月十六日維納通信員報ノリアン伯が墺洪兩首相に提出する覺書の要領左の如し

聯合國が戰爭目的に關して述ぶる所を見るに其の要點は人道及名譽の理想の實現並に各民族に對する自由の保障是なり而して領土の變更は中央國の覆滅に於いて約さる、を要するの外新國家を建設するが爲めに墺洲を分裂せんと欲し吾人の抵抗は之を軍國主義と稱す然れども客觀的に且絕對的に論ずれば領土變更の目的は領土の獲得にあらず去四日米國大統領の述べたる四點は吾人の見解と矛盾せざるのみならず吾人は之以上に進まんとす兩交戰者は相互妥協し人道の福祉に關する意見を開示するを要す但し之を爲すに當り東方と結べる條約をハンザンせる方法に從ふべからず敵は該條約の承認に參加するの招請を受たるが故に若し之に應ずるに於いては其結果を與にせしむることを得たるなるべし尚ほ軍事行動と外交とは戰爭中同一の目的を有し其の一を擱つ能はず敵若し人道的感情に復歸せば本戰爭は終了し得べし敵は分化を壞崩して新事態を設けんが爲めに其の力と吾人等の力とを消耗する而此新事態は各人民の平和的協力に依りて更に容易に且完全に實現し得べし吾人は其の敵たる人民が四年間戰爭の恐るべき災禍に顧みて後世界をして益々壞頹に陷らしめんとするの過誤を理解せんことの望みを絕たず吾人は敵が壓迫的理想と破壞的意思を放棄する迄戰ふべく此の重大なる時機に際し吾人の同盟は平時に於けると同じく戰時に於ても其の效果を現はせるが今後は世界的變動より吾人を救ひ平和及び安全裏に安靜なる經濟的政治的生活を爲すに必要なる事業を企畫する爲めの確然たる基礎ある締結將來の關係を正確に明確にせるに過ぎざりしと同じく今回の吾々も亦永き繼續の結果にして新事態に適合せしむるの目的に外ならず兩國舊條約の精神と全然同一にして新條約は政治關係を緊縮するのみならず各種經濟關係にも照應せしめんとす而して波蘭問題も新同盟は何人に對しても迫害を加へず人民の希望を考慮し解決するを要す準備するものにあらず又對敵國體を設けんとするものにもあらざるなり

○支那鐵鑛閉鎖影響
彼我兩國の打擊

▲最近支那は鐵鑛暫行辦法を布き活し鑛石の對外賣出を防止する由なるがこれは我國の產業獨立策に對し偉大なる打擊を與ふるものなるべし戰時に於ける產業獨立と云ひ自給自營と云ふが如き吾支那と日本との一體を意味するものにて我政府の自給政策も亦此の意味の下に於てせられ日支經濟の提携の如き亦此一端たるに拘らず我國の最も缺乏を感ぜる鐵鑛に對して支那が賣出を禁ずるとせば產業の主要なる鐵工業は著るしく打擊を受くるのみならず又日支經濟提携と云へる大目的に違反するに至るべし我國の

▲銑鐵需要高 は約八十五萬噸なるも製鐵所を始め北海製鐵、輪西製鐵、釜石製鐵、日本鋼鐵、日本製鐵、山陽製鐵等の生產能力は殆ど其半に過ぎず且漢陽本溪湖等も亦廻り薄にて供給不足を免れず從つて市價も現物四百五十圓てふ高値にあり而も本邦諸製鐵所は釜石等少數を除くの外は多くは支那鑛を使用し他國より輸入の途なく且砂鐵利用方法も未だ成功せざれば朝鮮並に滿洲山東省金嶺鎮諸鑛の研究調査の外なく而して我既成會社のみならず今後最も必要なる鐵工業の隆降も發展なかるべし更に之を支那より見るも目今我國より

▲資本と技術 とを輸入し相共に產業の發達を計ること最も急なるべし今日に於いて其の富源の開發を阻止するが如き政策を採るは甚だ誤れる政策と謂はざるべからず日支經濟提携は支那有識者間も共に認むる所なるに誤れる排外思想に制せらる、は萬全の計にあらず事の眞相は未だ知り難く我政府は之に對し如何なる態度に出づるや審かならざれども日支經濟同盟の意義より斯の如き事は喜ばしからざることなり（北京）

○南潯鐵道の過去と將來

南潯鐵道を南昌より福州を經由して三都澳に延長する計畫は日支兩國の意見一致し近く敷設に決すべしとは既電の如し南潯鐵道は元江西全省鐵路公司が

▲全省鐵道の 基幹として敷設を計畫し我興業銀行東亞興業會社等より借款し邦人技師を傭聘して一九〇七年九江（古名潯州）より起工し一九一一年九江德安間三十二哩を竣工したるも革命亂後一時工事を中止し更に我國より資金を得て一九一五年漸く南昌迄開通せしものにして延長七十八哩餘、前後我邦より資金を受けたる事九百五十萬圓と稱され此他支那人の資本百六十萬元を加へらる當初我技師の設計に依れば七百萬元にて足る筈なりしも経費を要せし事頗る大にして起工の當時より種々紛擾を斷たず

▲最近國有と ょるの議あり總辦李盛鐸氏上京して去月來政府と交渉を重ねたる由にて同氏は略議に浙江鐵道を國有とせると同一方法にて買上らるべきを豫期し唯解決困難なるは日本興業銀行よりの借款七百七十萬圓と株式權利評價二百餘萬元の始末なり拂込高株金の償還は概ね公債を以て引換んとする方針なるも在京中の江西南鄕有志は現金償還と償還期限の短縮につき種々運動中なれば更に總代を選出して上京せしめ極力運動する必要あり國有を遲延せしむるは不利なりとの報告をなし同公司にても此報告に依りて國有運動の

▲方法協議中 なりとの報道ありたり而して南昌より福州に至り三都澳に延長せんとする今回の計畫線は江西全省鐵道豫定線の一部南昌奉新線約百四十哩福建全省鐵道豫定線の一部福建泰寧間約二百五十哩を結び更に海岸地帶を北上して天然の良港三都澳に延びんとするもの旣成線南潯鐵道流域（江西境）閩江並に其上流小溪流域（福建境）を繞ぶ此等流域は殆んど其の最上流迄舟楫の便あり

▲金銀石炭鑛 亦砂から麗、茶、紙、漆器、木材等に富み就中福建の茶、紙、木材は有名なり嘗て我が領臺後揚子江域を其勢力範圍とせる英國にても福建江西浙江等の諸省が日本の勢力範圍たるべきを認め臺灣海峽の防備上支那にても福建を他國へ割讓せざるべきを聲明し三井物產の手にて一度此等諸省の鑛產敷設地を概測せる事あり共相同收熱旺盛なるに及んで江西福建共に前記の如く全省鐵道敷設を計畫し盛んに株式の應募を勸誘せる事ありしも僅に江西にては我が投資に依りて南潯線を敷設し得たるのみ福建亦僅に自力を以て厦門漳州間三十一哩を敷設せるのみ

▲殊に福建は 山嶽重疊し沿岸地多くして豫定線の大部分は其利徒を疑はれ實現容易ならざるを觀測され居たり然れども既に此の小鐵道あり廣東の東境潮汕距離ながら三井物產が工事を請負ひ我鐵道の敷設に則りて敷設せる延長二十六哩半の潮汕あり浙江福建兩東三省海岸は兎も角も全部豫定線を有し居れば南昌三都澳間の鐵道敷設が現はる、以上今後此等海岸線敷設計畫も其他の奧地豫定線と共に漸次具體化するに至るべく果して該鐵道が實現せんか他の未設線も勢ひ敷設叫を

▲促進せられ 遂には現在の廣九鐵道を聯絡結び厦門東上海を聯結する南支海岸線貫現するの期もあるべし

○山東近況

▲張懷芝氏再征內幕 張懷芝氏が此程南征の途に上れるは單に軍費の保障を得或は援與總司令の名を贏ち得たるが爲めのみにあらず實に裏面の如き事情ありて然るなりと傳へらる曰く、張懷芝氏は漢口より北歸し曹錕氏等と天津會議を開き之れに列席して總統副總統問題及び攻勢計畫を計議せるも彼れは自ら別に野心を有し元敗軍の將として再び出征するは其の希望する所にあらず即ち段祺瑞氏に取つて代つて入閣せんと欲しつゝありされど入京の際自ら意思を表示すれば不便なるより曹氏に對して段祺瑞氏に申込まん事を依賴せるが曹氏は種々の關係上之れを果さゝるより復た倪嗣冲氏に託するに至れり倪氏は心中決して成功する見込なしとせるも表面上段祺瑞氏に左袒して張氏に罪を得るは不利なりとし遂に病に託して上京せず乃ち王士珍氏をして上京せしめ代つて段祺瑞氏に面會し其意を述べしめたり然るに（張懷芝の事）は資格は古し經驗は富むも總長たる以上は公文書に目を通さゝるべからず其字さへ識ること甚だ少し何ぞ任に當るを得んやと此時王士珍氏は却つて段總理の爲めに献策し曰く若し斯の如き意味を以て其の希望を斥けんか張氏の反感を買はん一方段氏は張氏の入閣を希望し居れり但し第二路の前に醴陵に於て失敗せる爲め此際入閣するは却つて世人の誹謗を受くるの恐れある總理の意として、は再び攻勢を擔任し名譽を恢復し勝を得て北歸せば總長の一椅子は貴下に與ふる希望なり其時に當り張懷芝氏は資望充分なれば山東督軍の後任者たらしむるを得べし斯の如くんば實に一擧兩得なるを以て張氏は此の甘言蜜語を聞きて心中の愉快禁ずる能はず遂に勇氣を鼓舞して再征の途に上り其前途の困難の如き漠々として意に介せず而して段內閣の主戰政策はこれが爲め繼續遂行に大に便宜を與へたるなりと

▲蘇豫の大匪事件 江蘇省蕭縣（安徽、河南、山東の境界）に於ては今回土匪の爲めに百萬圓に近き損害を被れり被害人民の告訴に依れば督軍官吏功臣及び保衛團長劉彥明の土匪と通ぜる爲めなりと云ふ江蘇李督軍及び齊省長は事件の重大なるを以て徐州道尹に對し事實の眞相を審査せしめ並に隣縣と聯絡せるを以て山東當局に對し軍隊を派遣し共同討伐せんことを打電せり（山東）

○應募株增加
二百九十八倍に達す

朝鮮殖産銀行應募株は其の後整理の問合せ其の他遠隔地に依る著信遲延に伴ひ漸次增加を來し二十七日現在に於ては總計二千六百七萬七千九百四十七株となり公募株の二百九十八倍に達し益々好況を呈せるが其の確率數は尙小位にて途しありて居れる申込用紙未著のものあり尙三日を要すべきも前記總數を略割當をなし八月十日株主決定後證據金の拂戻しに着手同二十日第一回株式拂込を開始する豫定なり今回應募株數地方別及び公募株按分率左の如し

東京	七、五八七、四〇五
大阪	一六、二五四、三七一
其他	七六七、五三〇
小計	二四、六〇九、三〇六
朝鮮	一、三〇九、七九四
滿洲	一五八、四七
合計（二十七日現在）	二六、〇七七、九四七
有効優先株申込	四九、〇三六
差引	二六、〇二八、九一一

而して募集株數十三萬六千四百三株より優先株四萬九千三十六株を差引八萬七千三百六十七株に對し按分率を算出せば二百九十七、九二六倍に達し應募千株に對し三株三五六五五となる由

○電燈値上調查

京城電氣會社より遞信局に申請中の電燈料金に電力料金値上に就ては其の後遞信局に於いて各種資料の提出を同社に命じ各方面よりその正否の調査を進めつゝあるが局議の一定を見て何等かの指令を同社に與ふるは八月に入るべしと

○地方費徵收成績

京畿道管內に於ける本年四月末日現在大正七年度地方費賦課金徵收狀況を聞くに市街地稅附加稅居場稅等合計調定濟額六萬六千三百六圓に對し四萬四千五百四十六圓の收入額あり即ち收入未濟額二萬一千七百五十九圓を算し調定額に對する收入額の步合六割七分一厘を算せり今各稅別に就き其の徵收狀況を示せば左の如し

▲市街地稅附加稅 五千二百三十二圓の調定濟額に對し三千四百七十一圓の收入あり此の收入未濟額一千七百六十一圓收入步合六割六步三厘

▲市場稅 調定濟額四千三百九十四圓內收入濟額三千八百十五圓即ち此の收入未濟額五十七圓收入步合八割六步四厘

▲屠場稅 二千六百十四圓の調定濟額に對し一千九百十二圓の收入あり此の收入未濟額七百十七圓に對する收入步合八割一步四厘

○京畿道夏蠶狀況

京畿道管內に於ける夏蠶は目下四齡若しくは五齡のもの多く月末より來月初旬に掛けて全部上簇の見込なりと

○忠南輕鐵發起人

群山阪上貞信、大平德三郎氏等の企畫に係る忠南輕便鐵道株式會社は其の後著々進捗し阪上貞信氏は過般東京大阪に出張して發起人の勸誘に努めつゝあるが其の結果東京大阪一流實業家數名の賛同を得たるが最近大平氏に達したる在京阪上氏よりの電報に依れば內地側發起人の調印を了し既に發送したりとあり遲くも二十六七日頃到著の筈なれば大平氏は右書類到著と同時に朝鮮側發起人の調印を求め直に忠清南道廳を經て認可申請の手續を爲すべし（群山）

○營業案內所開始

滿鐵會社管轄に係る東京營業案內所は先般廢止せられたるが今回東京支社（麴町區有樂町一ノ一）內に『鮮滿營業案內所』を置き從來營業案內所に於て取扱ひたる乘車券類の發賣其他一切の事務（手荷物を除き）を取扱ふことゝなれり

○露貨換算率變更

東清鐵道に於ては本月二十五日より日滿貨物聯絡運輸に適用すべき日露貨幣換算率を百圓に付五百三十留とする旨滿鐵京城管理局に通知ありたりと

○移民農事講話會

每年六七月の交挿秧後の農事閑散期を利用し東拓にては移民に對し農事講話會並に俗俚の法話を爲すを例とせるが本年も南鮮方面は既に終了し多大の效果を納め居れるが京畿道方面にては二十四日松坡廿五日養把塔里に於て開催頗る盛況なりと

○五將軍送別會

京城官民聯合主催の下に八月五日午後七時より朝鮮ホテルに於いて松川、立花、古海、高橋、岡本五將軍の爲め送別會を開催す可しと

○金久保將軍出發

新任旅順要塞司令官金久保中將は二十七日午前十時龍山驛發赴任したるが驛には古海中將、市川、岡本兩少將、松本京畿道長官、久保京管局長其他多數の見送りありたり

○立花將軍歸期

北鮮部隊巡閱中の立花中將は二十七日歸任の筈なりしも途中豫定を變更し二十八日午後六時三十分の列車にて歸任すべし

○鹽澤大佐轉地

京畿道警務部長鹽澤憲兵大佐は近來少しく健康を害したるを以て轉地療養の爲め二十八日出發往復三週間の豫定にて別府溫泉に向ふ可しと

○西尾子爵通過

貴族院議員子爵西尾忠雄氏は廿七日釜山着同十時半北行せり（釜山特電）

○鮮銀總裁歸期

東上中の美濃部鮮銀總裁は八月一、二日頃東京出發歸鮮の途に就くべき旨通知ありたりと

○三井同族入京

三井同族の令息七名は時修舍の舍監二名と共に南鮮各地を視察の上二十六日午後九時十分南大門驛着列車にて入京朝鮮ホテルに投ぜしが二十七日市中見學、二十八日午前仁川の觀光に向ひ來月上旬再入京の上更に北鮮の視察の途に就くべし尙ほ令息は二十歲前後の青年のみなりと

○杉山孝平氏出發

東亞煙草會社重役として明治三十八年以來京城に在勤せし杉山孝平氏は今般東京本社詰となり廿七日午前七時五十分南大門驛發列車にて出發せり

○農業實科生見學

京城農業實科學校教員並に講習會員一行六十一名は見學のため二十七日夜南大門發にて平壤、兼二浦、鎭南浦地方に出發すべし

□電報不著

各方面よりの電報は何れも稲毅を極め本紙締切迄に一通も著せず締切後著の分は明朝紙に掲載すべし

人事消息

▲安藤運輸課長 平壤及安東方面に出張中なりしところ二十七日朝歸任
▲前川數之助氏（海軍主計少監） 二十六日夜入京朝鮮ホテルへ

★茶前酒後★

西伯利方面のボンボンパチパチの報道は割合に能く來るが拔人民は何うして居るのか少しも分らぬ▲まさか女も小供も爺さん婆さん迄も總出で銃砲荷いで騷いで居るのでもあるまい▲例の露國の名物男マキシム、ゴルキーの機關新聞は現今露國の頹廢狀態を報じて居るが實に戰慄すべき事實は僂指するに遑もない程である▲實際露國民は生ながら地獄に投ぜられて居る有樣である悲慘と云はうか何と云はうか言以てお話にならぬ▲先づ農民は土地所有者の財產を掠奪する爲め破壞殺戮爭鬪が所在に行はれる▲其處で產業に從事する者は一人もないから食糧の缺乏は極度に達し或地方では折角得た收穫物も他に奪はるゝを恐れ隣人の餓死する模樣を眺めつゝ隱蔽して居る者もある▲最も殘忍なのは小露西亞地方で婦人奴隷の賣買が公開されて居る▲市場相場は最初百留二百留と云ふのであつたが次第に下落して二十五留三十留となつた▲之れは賣品婦の供給が夥多になつた結果だとは如何にも殘酷千萬ではないか▲露人は是を以て中產階級を永遠に廢止し動產權力を破壞して財產共有の王國に達するのだと云つて居るのはたしかに文明の逆轉其愚や及ぶべからずだが斯うなつては到底何とも手の著け樣が無からう▲英國の學生が休暇中農業に從事するのは普通であるが米國のお役人連も之に見習つたのか▲華盛頓政府のお役人連は此の休暇中メーリーランドやヴアーヂニヤの農場に篤志農夫となつて働く申合せをしたさうな▲之等篤志家に對しても普通の賃銀は無論支拂はる、相當の賃銀が貰へたら上々の出來だとの評判▲諸君朝鮮でも一番計畫しては何うです

女子の本分

▲料理の出來ぬは女の損
▲禮法を知らぬは女の耻

女子の本分は婦道を守り家事に專らなるにあり。茶の湯、生花等の心得も必要ならんが、更に肝要なるは料理を研究して、日々の食事を安價に美味に滋養あらしむると共に、禮儀作法を修得して、婦道に缺くる處無き樣に努むるにあり。

■板垣伯爵夫人 は夙に東京割烹講習會を創立し、毎月家庭料理講義錄を發行し、坐ながらにして此兩道に達し得る便宜を計りつゝあれば今其內容の大略を紹介せん。

◆日本料理科 ▲儀式料理▲日々の献立▲即席料理▲會席料理▲本膳料理▲惣菜料理▲晩酌料理等日本料理の一切を網羅す。

◆西洋料理科 ▲正餐及略餐の献立▲歐米各國料理▲日本人向の洋食▲一品料理等、西洋料理一切を講義す。

◆支那料理 は世界料理中最も進步せるものと稱せらる、本項には此料理を詳細に講義す。

◆和洋菓子科 實用向の和洋菓子一切を懇切に說明す。

◆禮儀作法科 日本禮式及西洋禮式一切を講義し、禮儀上の心得、食卓作法、西洋食事法なども說く。

■實益と趣味 其他年中行事▲漬物▲燻物▲老人小兒病人の食物▲通俗化學▲名士の講話等に到る迄毎號掲載しあれば、眞に實益と趣味とを具備せる婦人必讀の講義錄と云ふべし。

■入會の手續 同會は目下會員の大募集中なれば、今が入會の好機なり。入會手續は簡單で、ハガキに「講義錄送れ」と書いて申込めば、直に會員として、毎月講義錄を配付す。

■會費と割引 會費は一ヶ月金四十錢。前金申込は三ヶ月金壹圓十五錢。六ヶ月金貳圓貳十錢。一ヶ年金四圓貳十錢に割引す。

■送金の便法 送金を面倒と思ふ方に對しては集金郵便の便法あり。此便法は入會を申込めば直に一冊送本し、同時に二ヶ月分の會費（手數料共金八十五錢）を其地の郵便局の手を經て集金し、次號は二ヶ月目每に二ヶ月分を集金に行く故、送金上何の手數も無し。二ヶ月分を集金するは集金手數料を節約せんが爲めなり。又前金拂込を望む方にて此集金郵便法に依らんと欲すれば、この便法にて取扱ふ可し。但し此場合には集金手數料金五錢を要す。

■大特典有り 此際の入會者には、入會金を免除し『料理必携』を進呈する外、會費六ヶ月分前納者には『家庭寶典』を呈し、會費一ヶ年分前納者には『パン製造法』及『記念メタル』を進呈す。

■見本無代進呈 見本入用の方へは無代進呈す

東京本郷御茶の水 株式會社 東京割烹講習會 振替口座東京一九四二〇番 電話小石川二六四二番

最新パン製造法 定價六十錢 送料八錢

パンが衛生的優良食品たるは何人も是認せる所なり。本書は多年海外に在りて專らパン製造を研究せる斯界の大家田邊五平氏が特に本會の爲に執筆せられたるものにて、田尻博士及諸大家の推稱を受けし名著也。文章平易說明懇切。營業用に適し、一般家庭用として好評嘖々。

實用パン製造法 定價廿五錢 送料貳錢

●此際の注文者に限り實驗用としてパン種十五斤分進呈

過去三十有餘年間パン製造に從事せられたる吉田忠氏の名著にして營業者は固より有ゆる家庭の人々にも種々のパンが解り易く且つ直ちに實地に應用の出來るやう親切叮嚀に詳述しあれば一般衛生經濟を重んずる人々殊に脚氣胃病患者等には有益缺く可らざる良書なり

●此際の注文者に限り實驗用としてパン種十五斤分進呈

印(田) 乾燥パン種 七個入一袋（一個で約十五斤のパンが出來ます） 定價參拾錢 送料貳錢

印蜂 乾燥パン種 六個入一袋（一個で約十五斤のパンが出來ます） 定價廿五錢 送料貳錢

發行所 會長板垣伯夫人 顧問大隈侯爵 東京本郷御茶の水 株式會社 東京割烹講習會 振替口座東京一九四二〇番 電話小石川二六四二番

大正七年七月一日改正現行

◎怒濤市中に躍り入る
釜山の暴風雨詳報、
―船舶家屋の流失其他の被害甚し―
―連絡船博愛丸蔚山沖に押流さる―

既報暴風雨襲來に就き釜山港にては大いに警戒しつゝありしに二十六日午後六時頃より風力二十三米となり市中南濱通り各戸の屋根を海波打越す爲めに各戸の出入も困難をかんじたり今回の風浪は四五十年此方無き事なり高麗丸は同日午後六時出帆せんとせしも中止し港内に投錨碇泊せず同日朝下關を發せし博愛丸は途中何れに避難せしや無線電信無き爲め未だに何等の通報もなく朝定時下關を出帆せし對馬丸は風波激しき爲め途中より引返したるが故に二十六日朝夕聯絡無ければ同夜發急行は停容の聯絡を爲さず北行せり（釜山特電延着）ために十時半發の北行急行列車は定時より一時間半遅延を來したり

◇消防全員出動して
警察と協力市中を警戒中也

後報に依れば廿六日午後に至り釜山港内外は狂瀾怒濤襲來し折柄碇泊中の船舶は木葉の如く飜弄され物凄かりしが午後六時の滿潮時に至りてより風浪益々高く爲に南濱に押し寄せ來る波濤は岸壁に打揚げ

▲人家の屋根を越ゆ 其都度市中に浸水せしかば海岸通一帶の避難者踵を接し悽慘の限りを盡したるが時と共に波濤は益々加はつて家屋を倒潰し餘勢を驅つて瀧を落すがごとく長手通に浸水したるを以て午後八時前後には人畜の往來全く杜絶したり釜山警察署にては非常容易ならずとなし九時半警鐘を亂打し

▲消防手の非常召集 を行ひ市民と共に海岸通一帶の地を警戒せしめしが流石に猛威を振ひたる暴風雨も十一時に至り漸く收りたるも波濤なほ高く何時欵變突發するやも測られざる狀態なりしかば消防隊は徹宵警戒に勉め本朝五時に至つて漸く解散する事を得たり（二十七日午前八時釜山電話）

▲二十七日迄の被害 海嘯のため海岸通一帶の損害甚だしかりしが二十七日朝の調査に依れば全潰二棟三戸、半潰五戸、床下浸水九棟二十五戸、破損家屋一棟三戸以上の損害見積額約六千圓なりと（二十七日午前十時釜山電話）

◇海嘯に呪はれたる
牧の島の被害は多大ならん

二十六日夜來の暴風雨と山なす波濤に襲はれたる釜山牧の島一帶は電話不通となりたる爲め判明すべく目下警察署員及び市民は驟山勒捜査中なり記者は龍頭山上に登り牧之島を展望したるが海嘯にて船舶及び家屋の流失等損害甚だしき見込なるも混亂きため釜山市中との交通杜絶し狀況を詳かにする能はず多分本日中には損害程度の跡の慘澹たる光景は手に取る如く觀察する事を得たり（釜山特電）

◇連絡船木葉の如く
飜弄され博愛丸は遂ひに蔚山沖まで押流されたり

關釜連絡船博愛丸は二十六日朝下關發同日夜六時釜山入港の豫定なりしも波濤と暴風と濃霧とのために港内に入る能はざりしに遂に蔚山沖に押流され針路を誤りたるため下關に引返し本船新羅丸と前後して入港したり船長の談に依れば『這麼のやうな暴風雨は未だ經驗がない程で千尺以上もあらうと思はるゝ怒濤が本船を木葉のやうに飜弄したるは谷底へ墜落したかと思へば瞬く間に山の絶頂につき上げられるやうで流石の私共も生きた心地がしませんでした、客室は慘憺たるもので眼も當てられなかつたのは同情に堪へませんでした（廿七日午前十一時釜山電話）

◇博愛新羅兩船
一時に入港

別項の如く廿七日朝博愛丸新羅丸兩船一時に入港したるため釜山驛内外は非常なる雜沓を來し之が…

（廿七日午後七時旅順口にて）旅順要塞司令官 金久保

◎晉州も大洪水
市中の浸水多し

晉州方面にては二十五日夜來の降雨激しく二十六日午後三時に至り南江の水量大いに增し交通杜絶となり刻々の增水に同夜八時より晉州市街浸水を初め尚水量は增加の一方にて大混亂を極めつゝあり現在增水二十四尺なるに引續き降雨頻りなるより人心恟々たり（廿六日午後十時晉州發電廿七日午前十時延着）

◎又復電信故障
電報遲延

二十六日朝鮮南岸に襲來せし暴風雨の爲め電信電話の障害甚だしきが其主なるもの京城東京線、京城大阪線、京城下關線並に京城釜山間の各線にて何れも釜山附近の郵上に於ける障害に付當局にては之が回復に務めつゝあるも被害大なるを以て二十七日朝までの所京城東京線並に京城大阪線のみ開通を見たり旁々輻輳遲素を免れず但し天候回復すれば二十七日中に各線全通の見込なり猶內地電信線も不良の由なり

◎四人二名脫獄す
京城監獄の椿事
一名は捕縛

二十六日午前十一時五分頃京城監獄囚徒二名が作業中脫走し一名は間もなく逮捕されしが一名は尙搜索中なるが逃走したるは忠北槐山郡生れの張大龍（二十）と云ひ強盜傷人破獄逃走罪に依り懲役十三年の判決を受けたるもの他の一名は平南鎭南浦生れの任興洙（二十）にて強盜及び窃盜罪にて同じく十五年の處分となりて服役中の者なるが兩名は同日午前中外多數の囚徒と共に麻浦煉瓦工場に於て作業中看守の隙を窺ひて獄衣の儘逃亡し鐵條網を乘り踰へ折柄の豪雨を冒して孔德里の山中指して驅け出し居るを見張所の看守が發見し警笛を鳴らしつゝ追跡し任興洙のみは松林の中にて逮捕せしが張大龍は遂に姿を晦まして行方不明となりたるより目下各官憲に手配りして捜索中

◎電話線のみ開通
電信線は極力復舊中

既報大邱以南の電信電話線は二十七日朝に至り先づ京城東京線次いで京城下關線の開通を見同日午後二時に至り右兩線は完全に復舊したりしも此間停滯せる電報多數輻輳せると他の不通線に依る可きものゝ現在開通線を代用する者あるより暫時延着は免れざる可く本紙廿七日夕刊締切迄は豫定の著信に接せず二十八日朝刊には多少の着電を見る可し尙京城大阪線は廿七日午後二時迄不通の狀態なりしも多分同日中には恢復す可しとの事なり因に電話線は故障後間も無く開通を見たり

◎監獄に行きたい子供
繼母を怖れての盜み
十五歳の窃盜

鹿兒島縣生の田中義男（十五）は昨年中兩親と共に京城に赴き同人は京城某官廳に給仕として雇はれ中繼母が常に辛く當るより居堪まらず役所の金を窃取して逃走し釜山に赴きたるを同地警察署に捕へられたるも十四歳にては罪あつても監獄にはやられざるものなるを知りさりとて家に歸り怖い繼母の顏を見るのが厭さに或處より子供心に一層監獄に入り暮さんものと決し年齡を十五歳と僞り目的通り大邱監獄に入獄したるを大邱地方法院の檢事に看破されて出獄大邱人保護會の周旋にて小泉理髮店に雇はれゐたる中數日前主家の金六圓を窃取したる事發覺し大邱警察署に逮捕され目下取調中なるが同人の事情斯くの如きなるを以て大邱署にては同人の保護に就て攻究中なりと

◎風で倒れた獵銃の
彈丸に觸れて
全身に重傷を負ふ

京城安國洞南[illegible]（三二）は二十三日午前十一時頃江原道淮陽郡淮陽面支石里の山麓にて外數名と共に狩獵中裝彈したる獵銃を樹木に立て掛け置き僅か進みたる際風の力に銃器倒れたる刹那偶然發射して彈は同人の右手を初め外全身に多數命中し一時人事不省に陷りたるを同行者が發見し直ちに京城に連れ歸り南大門通セブランス病院に擔ぎ込み目下加療中なりと

◎江原地方出水
漢江は增水すべきか

二十六日の豪雨にて江原道春川附近の新延江は二十七日午前七時二十一尺の增水を示し京春間の交通杜絶せり又旌善郡にて南漢江の上流は二十三尺の增水なるが漸次減水しつゝありといふ是れによつて觀るに下流なる漢江は一兩日中に多少の增水を見るべきか

◎漢江增水十四尺
尙ほ增水の見込み

二十六日朝來の豪雨は上流より漸次增水し二十七日正午には龍山元町下に於て增水十四尺に達せり

◎釜山白米小賣
値卅五錢となる
二十六日より

釜山にては廿六日より白米一升小賣値段を卅五錢に値上せり（釜山特電）

◎乾燥器破裂

鳥取市鳥取抄紙株式會社の乾燥器廿五日突然破裂し大阪鐵工所より出張中の田下技師負傷せり（大阪特電延着）

◎本町警察大繁昌
さッさ持込め〳〵と何でも
持込んで來る訴訟沙汰

近來本町警察署に對していろいろの註文を申込む者が多くなつて來たのは個人の權利を認めて來た新時代の反響とも見られるが何でも彼でも無暗に告訴するのは

◆朝鮮人側 に多い、夫れも刑事問題に關することならば未だしもだが金錢や物品の貸借關係のやうな民事事件のことでも直ぐ告訴して行くものだから係官も喰ふことが尠くないといふ、夫れに甚だしいものになると隣家が精米所で夜遲く迄作業するものだから安眠妨害に陷り神經衰弱になるから其の從業時間に制限を加へて呉れとか、自宅に接近して隣家の便所があつて

◆其の臭氣 が鼻持ちならぬから其所を更へるか相當の防臭法を命じて下さいとか、內鮮人の雜居部落では朝鮮人に便所が無く四邊構はずやられるには困るから便所を設する樣に取締つて呉れとか、斯樣な面倒なことを持込む內地人もある、警察官憲では其の要求に對し夫々現場を視察した上夫れ夫れ適當の處置を與へてるさうだが中には徒らに警察を利用して他

◆人の迷惑 になることを企てたり自己の腹を肥さうと計るやうな圖々しい者もあるさうで官憲でもウッカリ信ぜられない註文もあるさうだ、夫れは昨今は便所が閊へてゐるけれど府の衞生人夫が廻つて來ないから警察署から命令して差向けて呉れとか水道の水が出ないので水道係に請求して

◆之を催促 して呉れと云ふやうな向きも頗る多く全くドウも警察署大繁昌ですと京城署の警官は語つてゐた

◎二等客の投身
新羅丸の船客

關釜連絡船新羅丸は廿三日午後八時半釜山港を出帆し廿四日午前一時頃北緯三四度三八分東經一二九度五二分の位置（對馬沖合）に於て上中板後部右舷より身を海中に躍らして飛込みたる樣子を船員が發見し直に服部船長に報告し機關の運轉を停止し直に短艇を卸し元來し海面を搜索せしも發見するに至らず不止得捜索を中止し進航を續けたり同時に船客を取調べたるに三等には其れらしき者なく其投身者は二等船客にして大阪北區西堀川一番地清水四次なること判明せしが同人は釜山下關間の切符なりき同船は廿四日午前八時半入港同船長は直に水上署に屆出でたり而して同船內には遺書父絡太郎及び母と遺族宛行三郎宛人藤本某に宛てたる遺書四通、入口の現金四十七圓九十二錢五厘及び切符、鐵色立絹羽織一枚、帽子下駄等にして遺書に對して總ての郵券を貼附し親展と認められ居れば開封を許さず何故に自殺を企てしや其事情を知るを得ずと（釜山）

◎名譽の犧牲者
義勇兵中尉の死
日本武士の華々しき最後に
西比利の野を紅に彩れる土田中尉

セミヨノフ軍のために義勇兵として滿洲里に出征敵彈のため戰死したる故陸軍中尉土田淺市氏の同行者たる大山貞武氏は土田氏の遺族の爲めに血痕にまみれたる故中尉の軍服を携へて二十四日歸連したるが故中尉の戰死の狀況につき語つて曰く七月一日正午分は故土田中尉に從ひ大連を出發して四日に

◆滿洲里に 着き翌五日セミヨノフ軍から武器軍服を授けられ六日は終日列車內に生活し八日となりて在鄕義勇軍は二箇中隊を編成し殘留隊は本部と稱して土田中尉は之が部長に任ぜられ十二日には出動命令を受けてダブリヤより東方約一里の地點に野營し翌十三日附近なるハルピン山高地を占領し更に十四日午前六時八十四號西南に突進し附近の高地に

◆防禦線を 張つたが其の十一時橋本小隊と交代して一先づ戰線を退き暫し休息する中に十五日午前三時頃敵の砲撃は猛烈となつて之が應援に出かけなければならぬといふことになつた斯くて同午前三時頃本部を出發して戰線に臨んだが砲戰はやがて

◆敵味方の 接戰となりサラスン山西方高地に於ては開戰始まつて以來の大激戰か行はれたが土田中尉は其の先頭に立つて勇敢にも敵陣に突進し腕に任せて戰鬪を繼續中何處からか敵の砲彈が飛んで來て苛凄じく中尉の胸部を貫通したので其儘にこう斃れるの外はなかつた無慘にも

◆義勇戰士 は敵彈の爲めに斃れ同行の我義勇兵の面々の落膽は云ふ迄もなくセミヨノフ軍に於ても大いに力を落し戰鬪中とも鄭重なる葬儀を行うたがセミヨノフ軍の本部では更に莊重なる

◆假埋葬を 行つて後遺骸を送ると言つてゐるので止むを得ず自分は中尉の血の着いたボロ〳〵になつてゐる軍服、軍帽、軍刀等を携へて來たといふやうな譯であること（大連）

◎猛獸
◇暴れ廻る夏の平北◇
―被害頗る多し―

平安北道にては毎年夏の頃豹、狼、熊、猪等の猛獸の爲め人畜の被害敢からざるが最近六月十五日以降七月二十日迄の間に江界郡漁雷面天城洞邊洛九は

◆民を懸け て身丈六尺の熊一頭を生擒せしが人畜の被害としては寧邊郡鳳山面朝陽洞李興國四男大吉（二）は豹に咬殺され朔州郡朔州面安坪洞安聖濟二女安姐女（三）も豹に咬殺され江界郡文玉面金泰基方は豚一頭を豹に食はれ渭原郡大德面漁谷洞金應日方は牝牛一頭

◆狼群に食 はれ同郡[illegible]方は牧牛各一頭を豹に咬殺され熙川郡東倉面[illegible]一頭を豹に捉はれ楚山郡[illegible]方は犢一頭を狼に喰はれ楚山郡楚山面坪洞安弘淳方は

◆豚一頭を 狼に同郡江東面島洞白鳳祥方は犢一頭を豹に同洞姜奉河方も犢一頭を豹に何れも拉去され熙川郡[illegible]安永植方は犢一頭を豹に同郡南面所要洞李貴伯方は犢一頭を豹に何れも咬殺されたり

◎明太船漂流

慶南河東郡德陽面邑內洞金岡玉所有帆船清福丸（十九噸）豐丸（八噸）の二隻は咸北魚大津にて明太魚を滿載し元山に向け航行中七月十五日午前十時頃咸北明川郡東面三浦洞沖にて風波に襲はれ積荷は悉く流失し船內に浸水して舟は漂流するに至りしが乘組の船夫等は辛く上陸避難せしも損害額合計七百圓なりと

◎帆船破碎

黃海道海州郡西[illegible]面帆船所有帆船十五石積み及び同所野村清藏所有の八石積帆船の二隻は[illegible]里の海岸に碇泊中七月八日午前五時頃風波の爲め錨纜を切斷され岩角に打衝けられて破碎沈沒せり兩船共各二名宛の船夫ありしが何れも上陸避難せり船體の損害は志野所有のもの六十圓野村の分は五十圓なりと

◎舊龍山に納涼場
餘興に相撲賞探し

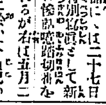
舊龍山有志は本願寺燒跡に本月中旬より納涼場を設け毎夜相撲及び賞探しをなし大に賑ひ居れり

◎澁谷良英氏送別會

高田商會京城支店長澁谷良英氏は今回同商會福岡支店長に任ぜらるゝ澁谷良英氏のため有志の發起にて二十七日午後七時より白水に送別會を催したり

◎寺院と教會

▲メソヂスト教會（旭町二丁目）二十七年』午前十時『承教』（長谷川町）上中村牧師 ▲日本基督教會（長谷川町）廿八日午前八時半日曜學校同午前十時禮拜說教題『信仰の義』（秋月致君）同午後八時傳道說教題『基督教の要領』（秋月致君）▲京城基督教會（南米倉町）廿八日午前七時半野外日曜學校同午前十時禮拜說教『慰安の笑』吉川牧師 ▲救世軍の集會廿七日午後八時本牧師午後八時半『パウロの聰明觀』宮川牧師 ▲救世軍[illegible]三十銀行前『心のもちやう』石島少校廿八日日曜午後九時永樂町小隊內『信仰の困難』同人 ▲妙心寺（若草町）二十八日午前九時より提唱あり



▲噫踏切番 黃金館にては二十七日より特別番組として新派悲劇噫踏切番を出したるが右は五月二十日院線碑文谷踏切に於いて自己の危險を思ふ責任觀念より二人一時に犧牲となつて逝げたる須山寿五郎、竹內勇作の死を演じたるもので又外に[illegible]等あり

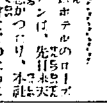
▲生ける屍 大正館は二十六日より日本に於ける最初の試みとも云ふべき日本の活動役者によりて演出せられたる露國文豪トルストイの傑作生ける屍にて開演したるが可なりに鋭く人生の暗部を描き出せる上幽遠たる西伯利亞を背景とし頽廢的な酒場の歡樂、[illegible]ジプシー娘等[illegible]面白く觀られ、日本の扮せるフェーヂャ、若妻のマーシャ、立花のリーザ等何れも役に嵌り苦心のあとを觀せ居れり

▲有樂館 [illegible]

▲壽座 [illegible]

▲浪花館 [illegible]

▲讀館 [illegible]



▲朝鮮ホテルのローンガーデンは、先日來天候が惡かつたり、不況な火食のために野外活動寫眞の夜會を休んでゐたが天候が恢復したので二十七日の土曜日から又々夜奏で、活動寫眞の映寫をやるさうだ▲京城では素人寫眞が分流行してゐるが特に最近一部の人の間に名刺形の寫眞を持つて囃されてゐる▲三越だけでも田中所を始め十人近くあり裁判所方面にも大分同好者があるさうだ▲これにかぶれたものか先達て來た東京相撲の內で京城でベスト、ポケット、コダックを買求めたのは大關千葉ケ崎に大戸平の兩人なるが千葉ケ崎などは大分上手になつて瀟洒に行つて撮してゐるさうな

仁川期米

二十七日後場（兵器保證）[illegible]るに至れり四圓三十四錢迄轉きたるが漸く買物を呼び二十錢に押して大引際に散會を告げたり

[illegible]

仁川米豆取引

二十七日の九月限 [illegible]

連絡船上陸客

廿五日午前釜山入港新羅丸二等客 [illegible]

讀者文藝課題及募集規定

[illegible]

募集規定

▲用紙は同形の用紙 [illegible]

天氣 くもり

曇後晴れ

[illegible]

◎日出 五時三十[illegible]分 ◎日沒 七時四十六分

滿潮 仁川 [illegible] 釜山 [illegible]

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千貳百貳拾萬圓
總預金 貳億貳千六百萬圓
株式會社 第一銀行 京城支店
京城本町二丁目 振替貯金京城一〇一番 電話 一二三一 六二一七番
頭取 佐々木勇之助
支配人 西村道彦

胃腸病とタラコン
普通胃腸の藥は唯だ一時の消化を助くるか無闇に胃液の分泌を促すか又は胃液を中和するだけですが此タラコンは衰弱だ胃腸の筋を引締めて其活動を順調にし胃液を整へ消化を十分にして吸收を好くし本統に健全な身體となります如何にも胃腸病に苦む方は是非御試し被下タラコンの一種爽快なる刺戟は如何に頑固な長年の胃腸病でも卓効があります
散藥五十錢一圓二圓錠劑第一圓一圓九十錢送料八錢海外卅錢
本舖 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園 電話小石川二一九五六 振替東京一〇〇二

豪雨にも拘はらず 初日滿員御禮
露國大文豪故杜翁大傑作
松井須磨子當り狂言
革新劇 生ける屍
『さすらひ』の唄 東園江孃出演歌唱
大好評大人氣
大正館

大正七年七月
この月美顏ユーマー御使用の事
日燒の憂なくお顏ますます〳〵美し

自然の素顏の
得も言へぬ美しさ!! 美顏ユーマー召させ給ふ方に氣高き美あり

美顏ユーマー
桃谷研究試驗所創製の化粧液にして光榮ある御化粧料三十六種の內

京日紙上お伽講演

二つ玉（上）

龍山　涙光

昔々ずつと昔の大昔、瓊々杵の命のお子さんに、火照の命と火折の命と云ふ御兄弟がありました。兄さんの火照の命は大變に海の漁がお上手で、弟さんの火折の命はまた山の獵がお好きでありました。兄さんがその得意な釣鉤を絲につけて海に投げると忽ちにそれはそれは澤山な魚が集つて來て引揚るのに間がない程釣れます、火折の命が手慣れた弓に矢を番てビューと放す時には、どんな足の速い鳥でも獸でも矢をのがれて逃げ出す事は出來ません、兄弟二人は毎日お辨當を持つて銘々得意の海と山とに分れて漁獵に出かけて居りましたが兄さんの火照の命は『弟にあんなに澤山獵が出來るのだから私にだつてきつと獸が澤山捕れるにちがひない』と思ひまして或る日の事に向つて『偶には違つた漁獵をして見るのも面白からうから、どうだ今日はお前の弓矢を貸して私が山へ行くからお前は私の釣鉤を以て海へ行つて見ようではないか』と申しました弟の命は心だての非常に優しいよい人でありますからすぐと『はいはい兄さんの仰の通りに致しませう』と直に道具を取替へて兄の命は山へ弟の命は海へと別れ路から二人別れて足を踏み入れて參りました狀の中に入れてあるお菓子を取り出すよりも容易く、海の魚なら捕

れる火照の命も、慣れない弓矢を持つてはちつとも思ふやうに行かないのみか鳥の子一羽捕れません、朝から一日中お山を駈け廻つてお日さんの暮る頃になりましたが何一つ捕れないばかりでなく、手も足も茨に引搔れて傷だらけになり身體は綿のやうに疲れてしまひましたので

『捕うこてもだめだ』とあきらめて今朝弟と別れた別れ路まで歸つて參りました、いくら待つても弟は歸つて來ません、どうしたのだらうと思つてブツブツ云ひながら尚も待つて居りますと火折の命は釣竿のみを持つてさも困つた顏をしてすごすごと歸つて來ましたので兄さんは『お前、今まで何をして居たのだい、俺は今日はほんとに酷い目に逢つたよ山の獵なんかちつとも面白かない、さあ早く釣鉤を返しておくれ』と不機嫌な顏をして怒つたやうに申しました、弟は何とも返事をしないでシクシクと泣き出しました『おい〳〵どうしたんだい泣いてちや分からないぢやないか、それよりも早く鉤を返しておくれ』とつめかけますと、弟は土元に手をついて

『兄さん、御免して下さいな、私なんか一匹も取れないばかりか兄さんの大切な鉤を魚に取られてしまつたのだから、どうぞ御免して下さいな、そのかはりこの私の大切な劍を壞して千五百本の鉤を作つて返しますから、ね兄さん、堪忍して下さいね』涙を兩方の目に一杯ためて謝りましたが兄さんはちつとも聞き入れないで意地の惡い顏をして怒り出しました『いけないいけないどうしても元の鉤を返せ、どうしても元の鉤でなくてはいけない、さあ早く早く返して呉れ』と、ピシヤリピシヤリと弟の頰をなぐり付けて催促しますので、弟は泣き泣き立上つて海邊にまた引返して來て海岸を彼方にゆき此方にゆき元の鉤を探して居りますがいくら彷徨いて見ても、魚に喰はれた鉤が海岸に落ちて居る筈はありません、日はとつぷりと暮てしまいました、するとふと向ふに雁が罠に罹つて困しんで居るのを見付け出して火折の命は可哀想で可哀想でたまらないものでありますから、罠を解き放して助けてやりますと、雁は嬉しさうに飛んで行きましたが間もなく何處からともなく、ひよつくり一人の白髮のお爺さんが現はれて來ました、そして銀のやうな白い髭をなでながら。

『どうしてこんな處で日暮まで立つてるの？』つて聞きましたから、火折の命は鉤を取られた事、兄さんがどんなに謝つても許して呉れない事を話しますと、お爺さんはニツコリ笑つて、

『あゝ、さうか、それは心配しないでもいゝ、私の云ふ通りにしてごらん、きつと鉤は取り返せる』と云ひながら不思議な袋の中から黒い櫛を取出て砂の上へ投げました、すると、びつしりと茂つた竹籔が出來ました、その竹を切つてお爺さんは籠船を作り。『さあ、これに乘つて海の底まで行くのだ、するとそこには好い道があるから北路をずんずん進んで行くと鱗で作つた大きな御殿がある其は海の神のお宮だから、海の神から捜して貰へは造作なく鉤は見付かる』と云つて火折の命を籠船に乘せて蒼々とした海の中へザンブとばかり投げ入れました（つゞく）

◎問題の外國米は

何處へ賣れるか＝多く漁場へ

移入の先驅は西貢の二等白米　現金で羽が生れた樣に賣行く

政府管理令の下に外米移入を朝鮮に及ぼし其指定商店たるや三井、鈴木、岩佐の三箇所にて總數五千噸なるが釜山陸揚は前後三回を通じて二千五百噸の豫定噸數にして去る十九日第一回の移入をなしたる五百噸は内二百五十噸鈴木、二百五十噸三井にして總て西貢二等米とす政府指定拂下げ値段は

◇◇百斤金八圓三十錢◇◇なり而して今其販路及び價格につき兩店主任の談に曰く今回政府管理外米移入を發表するや釜山の如きは卸賣業者よりの申込多く豫定總數の約三倍以上に達し而も現金を提供する申込者多く成績良好なる故に兩商店共其筋の趣旨に則り出來得る丈け多數の卸賣業者に割當て成るべく需要者の多數に行き渡らん事を希望せし第一回は

◇◇忽ちの内に各方面◇◇に搬出せられ尤も需要者の多きは端境期に常に米穀不足を告げつゝある半農半漁業者にして慶南は巨濟島方面より統營其他南鮮一帶の漁場即ち慶北は大邱商人の手を經て浦項、九龍浦、蔚山甘浦方面より江原道の一部にかけ其他

◇◇木浦商人の手を經◇◇て附近の漁場に運搬されたる次第にて今後も豫約濟の盛況なれば販路に至り最も廣く行き渉りし事は之れを以て周知するを得べし斯の如く管理外米の輸入好成績を納めたるを以て三井物産の如きは指定以上今後續々移入あるべく

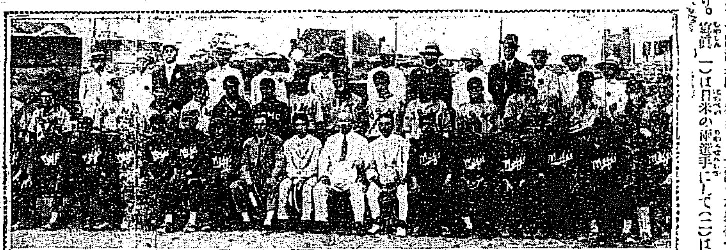
◇◇追注文をなしたる◇◇も其後管理部より方針に依り注文に應ずる事を得たる由而して卸賣業者より各仲買小賣業者に卸賣するは薄利にして米商人の常例を破る僅々百斤五錢乃至十錢位の

◇◇漸口錢にて賣捌く◇◇を以て百斤八圓五十錢より高かるべからず釜山に於ける白米相場に對比すれば一升十錢より五六錢の低價勞務を生ずれ之れを一石の等差を算すれど實に十圓より五六圓以上の差を示す假りに今回の釜鮮五噸即ち三萬六千石餘此差金平均八圓とするも實に

◇◇二十八萬八千圓と◇◇云ふ大なる差金を生ず而して今後釜山港に陸揚すべき管理外米は廿九日頃須磨丸にて三井二百噸、廿四日佐四百噸、鈴木一百噸八月十日頃旧島丸にて三井百五十噸鈴木卅噸と云ふ割當なる由（釜山）

☆日米大野球團＝明大野球隊

＝北京に於て米國海兵團を破る＝



明治大學野球隊は廿二日午後北京に乘り今廿三日午後四時より新設グラウンドに於て米國海兵團と猛烈なる大試合を擧行せるが三對二を以て明大軍の勝利に歸せり。寫眞（一）は日米の兩選手にて（二）は日米兩應援團（三）は試合の實況（北京）

戰塵

注目すべき現象

◇獨墺俘虜軍の今後◇

過激軍中最近起りたる注目すべき現象は從來過激軍は獨逸及マジヤール軍に對し月給を仕拂ひ來りしが現今主客轉倒し獨逸將軍タツベの參謀部は反つて自費を投じて部隊を編成し支那人の如き一箇月百五十留の手當を支給し居れりと以上の二報道其の他を綜合するにセミヨノフ軍に對抗せる獨墺俘虜軍は、愈々其の本性を現はし窮鼠猫を嚙む勢ひを以てダウリヤ方面を歐洲戰場の一部として大に惡廻らんとするもの、如しされば セミヨノフ軍は稍もすれば窮地に陷らんとせるが如し

極東の獨逸軍

◇支那領土内に突入◇

ダウリヤ戰線よりの報道に依れば最近マヂャール及び獨逸軍の行動は特に辛辣露骨を極むるに至れりと蓋し東部西伯利に於る過激派の權力は茲に顚覆したる爲め、其の共同者たる彼等は反革命者に下り二重の捕虜となるを得ざる理由なるが故なり、彼等は從來過激派と共同し露國内亂の爲めに戰ひ來りしが、既に過激派の權力崩壞せし今日の命令に依りダウリヤ戰線が西部戰線の延長さるゝことを意識し、其の結果彼等は武裝を整へ支那領内に突入するの外なきに至るべし

砲聲滿洲里に

マヂャールはセミヨノフ軍に對し攻勢に轉じつゝあり兩軍は互に勝敗を繰返しつゝ激戰を繼續し其の砲聲殷々として滿洲里に轟ゆと云ふが、シヤラスン滿洲里驛間は列車尚ほ運轉し旅客の運搬を爲しつゝあり（哈爾賓）

◎光瑞師門下の少年團

◇理想の教育を受くる◇

三十餘名の秀才

在旅順大谷光瑞師の許に薫陶を受けつゝある少年三十餘名の秀才教育團は目下暑中休暇もなさず海濱或は林間に於て大谷師の理想的教育を受け居れるが同團は二十二日午後八時教頭小川又由氏に引率せられ旅順を發し途中王家屯水道軍を見學し行程十五里を強行し二十二日午前十一時星ケ浦着朝食を喫し同日午後一時大連本願寺別院に入り休憩午後五時四十分大連發列車にて旅順に歸向せるが一同元氣旺盛なりき（大連）

◎草王も近頃 勢威地に墜つ

◇長白山下の別天地も◇ 馬賊の跳梁を見つゝあり

近頃頓と其消息に接せぬが十年前に於ては朝鮮各地の新聞に可成り紹介された長白山下の草王と稱せられたる韓登擧（近頃にては韓受泰といふ）樺甸縣江左一帶の總轄試辦員大東理七區々官といふ肩書を有し所謂牛官人として其勢力は實に朝鮮の宰する警察區内にては流石に強なる馬賊も手を收め往て警害を訴へたるなしと稱せられ韓統領の威力大なるを思はせたるものであるが本年同地方は有力なる團隊の馬賊横行し軍警の威力も及ばざる狀態にて近頃は韓の勢力圈内も爲に馬賊の蹂躪に委するの外なきに至り此別天地も今や旅行者が危險視するを得ざるに至れりと間島よりの通信に見ゆ

◎巡査部長等の收賄したる金

◇殆んど費消し居らず◇

龍岩浦に於ける中村造船所長一味の密漁事件につき密漁料の分配を受けたる龍岩浦署水に勤務之原巡査部長の家宅搜索を行ひたる所妻女は千九百圓を保管に差出せし由同大谷巡査宅に於ても同千百圓を發見したりと言へば着服の費消せし金額は僅少なるべく又張巡査補は二百圓の内百圓を他人に貸與し其の謝罪金に現金百圓を所持し居たりとのことなれば同人のみは一文も費消し居らざりしものなり（新義州）

◎豹の分娩季

◇昨今が恰度それで◇ ◇各所に被害が多い◇

平南龍岡郡多美面芝沙洞里九秀峰と稱する山麓に百虎かの徘徊し居るを目撃したる鮮人數名ありこの頃しきりなる目下何等被害なき模様なり又同郡同邑の李吉部飼養の牡犢（生後四箇月）を同地藏嶽山の麓に母牛と共に放牧し居りし處本月十九日午後五時頃より行方不明となりたるを以て直ちに百方捜査したるも見えず翌日同民を募り再び捜査に從事したる處同所より東方約四五町を隔たりたる所に何物にか喰ひ殺され斃れ居るを發見したるを以て直ちに龍岡巡査駐在所巡査が同出により現場に出張臨檢したる處犢の腹部内臓約三分一を喰ひ取り其附近には豹の足跡の殘れるを見れば豹が喰ひ殺せるものらしく農民の話には目下豹の分娩期なれば分娩後食物に窮し人家の附近に食を求むる爲に徘徊するものなりと云へば多分は豹の被害なる可しと云ふ

◎こんだ流言

◇鮮銀小額紙幣に對し◇

近來平壤地方の鮮人間に小額紙幣の使用は本月限りにして來月より反古同樣になると云ふ流言傳はり爲に鮮人間に之を信じて朝鮮銀行へ出掛け朝鮮銀行兌換券十錢二十錢五十錢等の交換を申出づるもの頻々たるが右原因を探査するに目下平北讖山金融組合にて汚損して使用に堪へざる前記兌換券を交換しつゝある爲め斯る風說を生ずるに至れるものにして當局にても是等人民を懇諭し居れり（平壤）

◎米が高いので 豆や豆粕を食へ

◇大連で各方面に奬勵す◇

朝鮮産米の昂騰に伴ひ滿洲各地は俄に米價昂騰し大連にては二十四日より一等米一斗三圓六十錢特等米一斗三圓七十五錢乃至三圓九十錢となりたるを以て各方面にて大豆及び豆粕、小豆等の食用を奬勵しつゝあり（大連）

◎晉州と米價

買占の波動は晉州にも及ぼし二十六錢五厘位を上下なしつゝありし白米は一躍三十錢臺を突破し廿三日遂に三十一錢八厘を唱ふるに至れり（晉州）

◎大連特產物

◇大豆　一時西伯利亞出兵と輸送關係を見越して相場緊張せる滿洲特産物も其後出兵問題が當分南滿洲に差したる影響を及ぼさゞると見て大豆の如き市況一向に引立たず供給過剩の結果多數の持越あり豆粕用として相場を支持し居るに拘らず近來豆粕も亦輸出不振の結果下向き一方なるを以て市況閑散不況に傾けり　相場は現今三圓二十七八錢より三十二三錢見當先物八月三圓三十六錢九月三圓四十二錢十月三圓四十錢見當にて手合せあり

◇豆粕　内地の需用期を過ぎたる大豆不氣配と連れ連日ヂリヂリ下落し一時南支那方面への輸出盛んなりしも其の數量は全體の相場を動かす程度に至らず昨今至極不勢の成行を呈せり　二十四日現物一圓四　先物七月末一圓四錢八月限一圓五錢五厘九月末一圓八錢十月限一圓十三錢五厘なり

◇豆油　大豆の低落、豆粕の不氣合等は自然各油房の豆粕製造量の手加減となり豆油の品薄を來たすべき見込と近來米國輸出船腹の順調なる爲め豆油の堆貨甚だ多からざる結果自然先高人氣となり特産中弱り好氣配を保せり　二十四日は現物十四圓六十錢先物七月末十四圓八十錢八月限十五圓九十錢九月限十五圓十錢十月限十五圓二十錢にて手合せありたり（大連）

◎奇怪極まる風說

過激派と支那軍隊の密約說

千留と一萬留＝一人の死と十人

海拉爾へ引揚ぐ

ダウリヤ戰線の形勢は非常の變化を來たしチエック軍より激破されたる部隊の殘部たる獨逸人及びマヂャール人二萬二千にセミヨノフ軍を擊破すべく知多方面より大迂回を爲し包圍を爲さんとするに至りたるを以てセミヨノフ軍はマチエフスカヤを棄て滿洲里國境に退却するの外なきに至りたるが砲彈は滿洲里より五露里の地點に達する爲め在留日本人は萬一を顧慮して婦女子全部のみを海拉爾迄引揚げしめたりと

引揚たる婦女子

◇鮮婦は全部居殘る◇

滿洲里よりの歸來談によれば滿洲里を引揚げ海拉爾に至りたる日本婦女子の數は百三十餘名なりと尤も同地に出稼中の鮮婦全部は男子と共に未だ引揚ぐるに至らず萬一の場合には特別列車を仕立て、引揚ぐる準備に忙殺され居れりと斯くの如く邦人の一部が急遽引揚げを斷行したるはダウリヤ戰線の形勢が變せるに依るは云ふまでも無きも之れに關聯して或る風說の盛んに流布されしにも依る事は爭はれざる事實なるが如し

密約の成立說

其の風說とは過激派軍と國境守備に當れる支那軍隊との間に密約成立したりとの一事なり而して其の密約の內容として傳へらるゝ處に依れば（一）過激派軍が滿洲里に於て千留の損害を支那に與へたる時は一萬留の損害賠償をなすこと（二）支那軍人一名を死に至らしめたるときは十名の死を以て之を賠償すること等なるが如し（哈爾賓）

演藝案内

◎本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　電話八七三　櫻井町　大正館
▲本月二十六日より臨時特別大興行　▲實寫　佛國興地　▲米國メトロ會社秀作　滑稽活劇『チヤプリン番頭』五千呎　◎探偵活劇『覆面騎手』全五卷　▲悲劇『生ける屍』全五卷

電話二〇六番　本町三丁目　浪花館
▲京阪落語舞台一座へ更に若手數名入座　毎夜午後七時より開演

電話二三六七　黃金館
▲天活第一劇團一派出演『暗路切番』　連續大活劇『百萬弗の秘密』第五篇

京城本町　電話一〇五〇　壽館
▲各派聯合納涼淨瑠璃大會　六日目語り二十七日（いろは順）

電話（落上）二〇五二番　有樂館
早川演藝部直營活動寫眞常設館　◎金剛情話『哀宿虫』全五卷　◎自然劇『南方の判事』全五卷

◎特種大提供（今回は料金普通）
深刻なる責任觀念から己が過失に慨々しき身を責め自殺を遂げたる痛ましい二人の踏切番
去月の今夜（五月二十七日の出來事）
事實慘話　踏切番
現場に出張親しく當時の實狀を即取撮影
百萬弗の秘密　第五
天活新規大撮影
劇　二十七日より　立花三勇士　黃金館

◎◎朝鮮名物◎◎　金剛飴　京城本町電話二七四七五番　龜屋

東洋捕鯨株式會社特約販賣店　鯨問屋　香月商店　京城府明治町二丁目四八　振替口座京城四八四六番　◎尾材毛皮各種等椅

大學目藥　見事に治る　サスガは名藥

仁川　時計製造　寶石　販賣　本町　…商店

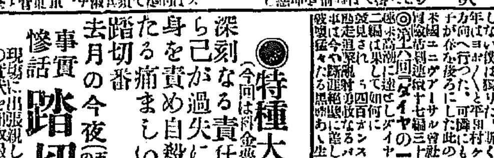
貿（大口迎歡）　黃金町長榴町入口　電話二九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

東京三金の靴
ボックス革製編上靴　一號金五圓五十錢　二號金五圓五十錢　三號金六圓五十錢　四號金七圓五十錢
ボックス革製變化靴　一號金四圓五十錢　二號金五圓五十錢　三號金六圓五十錢　四號金七圓五十錢
ボックス革製深ゴム　一號金五圓五十錢　二號金六圓五十錢　三號金七圓五十錢　四號金八圓五十錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般實用紳士靴として好適品なり　御注文の節は靴の種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上候
革見本寸法用紙付目錄送呈
東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店　電話芝六九　振替東京一七一三〇

好評經濟的事務用　金ペン付　パインビジネスペン　定價　壹圓九拾五錢　京城太平通二丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

下痢　くだりはら　腹痛に

直ぐ氣持良く止り腸胃を强健にす
登錄商標　健胃固腸丸
藥價　三拾粒入　七拾粒入　二百粒入　千百廿粒入　二千二百粒入
▲服用し易き小粒健胃固腸丸もあり　▲兒童用の小兒固腸丸もあり　◎各地藥店に販賣す
本舖　大阪伏見町堺筋角　谷田春堂



商況

東京期米特電

二十六日後場 十二月限
三節 二十七圓二十錢
六節 二十七圓三十五錢

大阪株式特電

株名	拂込額	日後出
宇治川水	五〇、〇〇	…
京阪電鐵	五〇、〇〇	—
東洋紡績	五〇、〇〇	一〇四、八〇
合同紡績	五〇、〇〇	一七三、一〇
鐘淵紡績	五〇、〇〇	二六四、七〇
河上新株	四〇、〇〇	一四三、八〇
東洋汽船	五〇、〇〇	…
大阪商船	五〇、〇〇	一〇八、一〇
日本郵船	五〇、〇〇	一三七、四〇
川上新株	五〇、〇〇	…
堂島米穀	五〇、〇〇	…
東京株式	二五、〇〇	…
大阪株式	一二、五〇	一〇五、四〇

大阪三品特電

二十六日後場
七月限 …
八月限 …
九月限 …
十月限 …
十一月限 …
十二月限 三五九、一〇

大阪期米特電

未着

當限 中限

下關期米特電

二十六日後場 雨歇み小混模樣
當限 中限 先限
寄付 … 三六、三九 三七、三九
高値 … … 三七、三九
安値 … 三七、三九 三七、三九
止め … … 三七、三九

雜報

●綿糸布强調 三品は休日明けの以來引續き三百六十圓より五十圓の範圍に於て小波瀾を繰返せるが底意は强だ固なるものゝ如く二十六日入後は後場先限三百五十九圓丁度に九限は六十圓臺を示す

九限は六十圓臺

三銘先物十一圓七十二錢

●正米目先高摸 正米は各地益々高氣配を報じ居れる午後の鮮布は三銘先物の如き注文の殺到に釜山市場は連日相場昂騰して二十六日入は更に二十錢高の上三十五錢

玄米三十五厘なり

●仁川市場 目先尙强硬 小役白米三十圓五十錢に上り…

小口賣物の相當手合ひ行はるゝより…

纏り口とすれば此三十錢乃至六十錢高

●釜山筋の買附 內地市場在米拂底にて相場漸騰の模樣なり昨今阪神地方より釜山市場に入込む玄白米の注文頻々として絕えず元より賣物薄の折柄とて白地や手近かの賣物れ僅かのみにては事足らず昨今地元筋も當市場に迄手を延ばし口下相當纏り口に對し商談を進め…

當市場に迄手延ばし相當纏り口に對し商談を進

●魚肥料强硬 肥料界は軟調を脫し魚肥料も昂まり氣味を現はせし商況…

輸入を豫測せる場合は更に黃叉ひとつ氣力乏し

●爪哇糖弗々 入荷の爪哇糖白叉は未だ一般的に取引進捗せず價格は十三圓七十錢見當

八十錢見當

●塗料類昂騰 …

●各地商況

●漸寸は區々 …

●割安に應る傾き 賣競め自然 …

●支那粟更不勢 …

賣急ぎの投げ物

現ぜりりく下押し

●麥粉更に高調 …

內地粉四圓八十錢

九十錢

眼先尙多少の上値を見るに至らん

●合格品五百叺 釜山著の二十七圓八十錢に取引

當市場の影響決して少からず

●肥料糠小强し …

●白米小弛む …

三十錢方引弛

氣配二、

●籾は底强し …

●薬は賣物薄 …

生魚市場

京城日丸市場 …

仁川期米

二十七日前場（保合）

圓八十二錢と一錢高に寄付

八十二錢と上伸

賣物多く

小鈍して依然保合の裡

大五仲買店

仁川米豆取引所仲買人 店主 …
營業案內 進呈
電話 長九〇三番 自宅六〇二番

仁川正米

南大門廻穀

大阪沖著二十四圓三十四十錢を唱へ原料買入に焦り

仲買店

仁川米豆取引所仲買人
電話 …

市場雜觀

…順氣譽

仁川米豆取引所

廿七日の九月限

前場 寄付 高値 安値 出來高
後場 寄付 高値 安値 出來高

白米小賣値

一等白米 三十二錢五錢
二等白米 三十二錢

白米標準値

三十一圓五十錢

田中金兵衛商店

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
電話長二五〇番

精白米の買注

文弗々入り込み

順氣の板挾みに定

期米の前途頗る趣味ある問題

正米高と上

強氣筋の割安思

買に支へ押目は又

少の被害

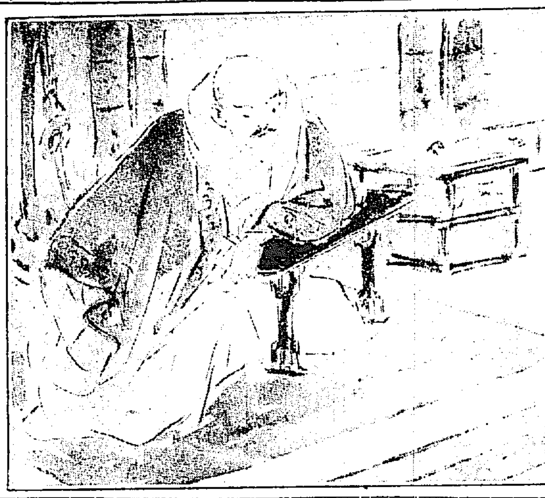
南鮮地方は多

取組高一萬五、六千石に減少

塚原卜傳

第百四十九席 悟道軒圓玉口演

さて松島の仇討も恙なく相濟みまして小太郎佐竹家へ歸參して愈々武名高く、當時勝義の名は日本國中に轟き渡つて凡そ木劍竹刀を握るほどの者は誰一人として知らぬ者はない位、從つて上州上泉の一門こいへば泣く兒も聲を納めるこいほどの威勢であります、小太郎勝義之れも師伊勢守初め人々の厚き誼に依る所こ感謝して父土佐守兒玉從こなり、武藏國江戸小石川なる島村小才治の沒後其名跡が絕えて居るのを再興なし、島山老人の帶刀の追甫をいたし…



…好長慶を一刀に切つて落し先將軍の鬱憤を晴らし奉りしは何よりの忠功である 小『恐入り奉ります小太郎力足らずして長慶一人を仕止めしのみ、松永岩成等を未だ討得ざるは殘念に存じ申す』

人参

京城本町壹丁目 電話一四八〇番 八七〇番
津村兄弟商會

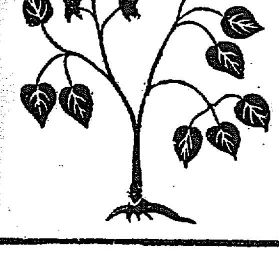
◎双眼鏡◎
◎十五形六枚玉十二圓
◎十三形六枚玉十一圓
送料鮮內十二錢 外三十錢
右僅少に付至急御下命願上候
京城太平通電話構內一八番
京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

牛乳 御用 岡野牧場
京城東四軒町
電話一〇六九番

院長 醫學士 森定吉
森病院
（實業醫院改め）
內科 小兒科 …
京城明治町三丁目 電話二六二三番

寫眞 京日寫眞製版部

一番よくきく
マラリア特効丸
本舗 林藥房



朝鮮人蔘三優强壯劑
藥草 通稱三枝九葉草
淫羊藿エキス

內地並朝鮮絕好なる中元贈答物

京城日報社代理部
京城特約店 山岸天佑堂 北島支店

謹告

近日クラブ化粧品直段改正として輕微の値上を實行仕り候事に決定仕り候間右豫め愛用者各位の御贊成御快諾を奉希上候

大正七年七月廿八日

クラブ白粉 クラブ齒磨 クラブ洗粉 總本店 中山太陽堂

『むしふんぞが』などこ
むしのよい事を云つて入らつしやるこ
ソレ此通りで御座います

御用意肝要の

定價 小形金五錢 中形金十錢 大形金十五錢 赤石形金廿錢
各地藥店にあり

於東京化學工業博覽會

金牌受領

最上醬油
釀造元
日本醬油株式會社

京城日報

第五版

[illegible]方面に向し[illegible]況を來し前年の昨今に比し大體に於て殆んご半額に達せざるが如く從つて各船會社の積荷競爭の結果[illegible]腹の不足に兎角輸出入の困難を訴へつゝありし對南洋及び印度貿易[illegible]之れが原因に就ては種々あるべきも主こして南洋印度方面の農產不作なりしに加へて船腹の不足に因[illegible]にして此傾向推移するに於ては本邦一部雜貨業者は非常なる打擊を蒙[illegible]たものか[illegible]非常な勢ひで增加したが大正五年半頃からは次第に落著いたものか其後大した增減を見ない

▲其他邦人 一四六八二八(男七九五〇人、女六七三二人)、合計一七二五八人 ▲支那人 二六六六人(男二二〇〇人、女四六六五人)

[illegible]萬三千七百九十八人に比すれば今年は六百十七人增加の割こなるのである

本紙定價 壹部參錢 壹ヶ月七拾五錢 ▲參ヶ月前金貳圓拾五錢 ▲六ヶ月前金四圓參拾錢 ▲壹ヶ年同八圓六拾錢 ▲郵券代用二割增
廣告料金 五號十五字詰一行 金壹圓五拾錢 特別一行同三圓 ▲二號七字詰同二圓 ▲二號九字詰一行同五圓 ▲六號十四字詰一行同一圓 ▲十七字詰一行同四圓
發行兼編輯人 奥戸直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 編輯用三六千九番 二六千九番 營業用三六千九番 守衛用 振替京城三〇〇番

今後のチ軍

チェック、スラヴアック軍は、烏蘇利、東清兩鐵道の分岐點たるニコリスクを占領し、續いて同所北方約三十里なる、スカスカヤに於て、美事に奇策を以て約七千の獨墺俘虜軍及、過激派軍を屠りて大捷を博し、敵を遠くハバロフスク方面に壓迫せり。スカスカヤの[illegible]ハバロフスク、ブラゴエチエンスク並に、遠にチタ方面より增援を受けたる者にて、其退却に際して、沿道の橋梁を悉く破壞せしもの、如く、而して敵の主力集團は依然ザバイカル州に在て、遠にイルクックのチエック軍進出に備へん爲、ウエルフネウヂンスクに、又北滿方面よりするセミヨノフ軍に備へん爲、滿洲里方面に各部隊を配置し一部集團はハバロフスク方面に配置せられ居るもの、如し。浦鹽より北行せしチエック軍は、今日迄の處連戰連勝の觀あり。然れごも最初チエック軍の浦鹽に到達するや、其兵力は一萬五千こ稱せられたるも、數度の戰鬪の結果、其兵力に於ても漸減し居れるは明かなる次第にして、且更に遠く進んで敵を壓迫せんこすれば、後方の不安多く。東清鐵道沿線なるボクラニーチヤに約四百のコルチヤクの反過激軍あるも、其行動の未だ以て頼るに足るあるを見ず。されぱチエック軍が敵を追うて長驅ハバロフスク方面に壓迫し、或は東清鐵道より西行せんこするも道は容易に非ざる也。日、英、米、佛の各國が、チエック軍に應援し、以て西伯利の秩序恢復を期せんこするは、專らチエック軍の、此後方の不安を除却するにあるべし。此の援護方法に至りては、勿論戰略戰術の範圍に屬するが故に、常人の窺知を許さゞるも敵に對して主こして戰鬪に從事するは、各國軍に非ずしてチエック軍たるべきは何人も想像する處なり。果してチエック軍今後の行動が、各國軍の後援に因つて、其の目的を達するや否やは、未知數に屬し、頗る興味ある問題たり。今チエック軍今後の行動に就て、試みに素人側より批評せんに、之れ亦面白き問題たるを失はざる也。

抑もチエック軍が今後取るべきの行動には二途を有す。即ち其の一は、浦鹽方面警備の爲殘留せる味方を併せて、スカスカヤ占領の同軍は烏蘇利線により、ハバロフスクの敵を壓迫し、黑龍江線に沿うて漸次西進するか。其の二は全軍ニコリスクより、直に東清鐵道により西進し、滿洲里に至りてセミヨノフ軍こ合し、遂にイルクツク方面に沿留する同族軍こ、相呼應して敵に當らんかにあり。然れごもイルクック以東各地に散在せる過激派軍は、獨墺俘虜軍等を合して、約七萬餘こ稱せられつゝあり、チエック軍が西進に對して、一擊能く擒獲の勝利を得んこするには、多大なる努力こ、卓絕せる戰略及び戰術上の成績こ、並に各國軍の適切なる、援護なかるべからず。チエック軍にして首尾能く東清鐵道を利用して、黑龍、東清兩鐵道の分岐點たる、カルムスカヤを占領せんか、黑龍、烏蘇利兩沿道の敵は、西伯利內部この交通を遮斷せられ、甕中の鼠こなりて孤立の止むなきに至り、自滅に陷るや必せり。之を以て先づチエック軍の作戰第一期の終結こなし、更に其の第二期は、カルムスカヤ獲得後、イルクック方面に於ける同族軍こ共に、東西よりチタ、ウエルフネウヂンスク方面に於ける、敵軍の剿討に入るべし。

斯く觀じ來れば、チエック軍の前途は、更に大なる難關の續現するや疑ひを容ざる處也。チエック軍果して、此大任を全うし得るや否や。其の成否は係つて、各國の後援程度の如何にあるか。

戰亂こ都鄙金融關係變動（一）

戰爭に原因する對外貿易の發展に伴ひ、我產業が驚くべき發達を爲し、一般經濟界は未曾有の好景氣を謳歌するに至り、金融界も亦其必然的結果こして異常の膨脹を遂げ、資金は急激なる速度を以て累積し、銀行預金の增加に至りては實に驚くべきものがある。預金の增加に伴うて金利の下落すべきは殆ご必然的のことであるが、茲に於る金利の下落は都鄙に依り著るしく其の程度を異にし、都市に於ける下落の程度よりも地方に於けるそれが更に大なるやうである。茲に於て從來の金融上に於ける都鄙の關係に顯著なる變動を惹起せんこしつゝあるを見るのである。今左に此の趨勢の由來及將來に付一應考究して見たいこ思ふ。

從來の離隔の原因

從來都鄙の金融關係の疏通を缺きたる主要なる一原因は地方の金利が都會のそれに對して著しく高かつたにある。思ふに地方の產業こして成立せるものは殆ご原始產業であつて、近世的大工業の見るべき者少く、原始產業の內でも、多くは農業殊に米產が最も重要なるもので、地方の經濟は一般に農業に依て、支配せられ、農業の利益の多少は直に地方の景氣を左右して居る。而して地方の產業及び商業の利益は如何なるものに放下せらるゝかを見るに地方に於る經濟生活が全く土地の生產物の數量及び價格に依りて左右せらるゝより土地を尊重する念慮が殆ご地方人の遺傳性を爲す結果こして、土地の利廻りが著しく低步なるにも拘らず、其利益が先づ土地てふ財產の買入に放下せられ、從來に於いては有價證券に放下さる事が殆ご知らなかつたこ云うても差支ないので、地方の有する財產の種類は殆ご土地こ家屋に限られたこ云ひ得る。然れば自己の產業若くは商業に要する資金を調達するに當り、金融業者に擔保こして提供し得るものは大部分土地若くは家屋の如き不動產に外ならぬ。是が地方の金利が都會のそれに比し高くあるべき根本の原因であらうこ思ふ。言ふまでもなく金利の同時的高低は要するに資金回收の難易の程度、詳しく言へば期間の長短並に信用の厚薄若くは擔保の良否に依りて決定せらるゝものであるが、地方に於て要求せらるゝ資金の大部分は長期のもので且つ提供せらるゝ擔保は不動產である。又地方に於ては擔保の提供に就いて嫌惡の念強く從つて信用に依つて放出せらるゝ資金の額が少からざるのであるが、是等も間接には不動產が其信用の基礎を爲し、營業若くは不動產の收益が信用の基礎ではない。然れば地方の放資の多くは長期にして回收困難なるもので、都市に於て云ふ商業手形の如きは寧ろ稀なのである。金利の高きも亦當然こ云はねばならぬ。此種の放資ならば都市に於ても地方こ餘り懸隔なき高步であらうこ思ふ。

接近の原因

前述の如く都鄙金融の離隔が兩者に於ける金利の著しき相違にあつたこすれば其金利の接近は他の事情に變化なくば當然兩者の金融を疏通せしむべき譯である。歐洲戰爭の齎せる經濟的結果こして我輸出貿易が飛躍的發展を爲し、輸出超過の累增が巨大なる資金の流入を促進し、都鄙を通じて銀行預金の增大を誘致せるのである。斯の如き事情の下にありて、都鄙孰れに於ても大體に於て戰前に比し利率特に貸出利率が著しく下落せるが、其の下落の程度は都市に於けるよりも寧ろ地方に於て著るしきものあり、爲に近時に至りては都鄙の金利が著るしく接近したのである。預金の增加步合が同一程度である――實際は地方の增加步合が少であるが――こすれば他の事情にして異る所なくば、金利の低落が同一步合であるべきで、都鄙の金融が從來のまゝでは遂に接近すべきわけがないのである。然らば如何なる事情に因り地方の金利の低下步合が都市のそれよりも大なるに至つたかこ云ふに、それは地方の產業狀態に原因するのである。前述の如く地方は一般に殆ご農業に依りて立ち他に事業が起らぬ、僅にある現代的企業は殆ご都市の經營こ資本に依つて發達し、地方は唯勞働を供給するに過ぎない。然れば一方に急激なる預金の增加あるも、他方に其の放資の途に苦んで居るから、金利が自から下落せざるを得ぬのである。都市に於ては預金の增加が地方以上に顯著なるものあるも、產業が未曾有の勃興を爲しつゝあるのみならず對外放資も漸次可能こなりつゝあるので、預金の增加につれて放資も擴張せられ得るのであるが、地方にありては金融の疏通せる區域が著るしく限定せられ、小區域が各々孤立して居るから、近時の如き好景氣に因り資金の集積が著大なる場合に於ては、資金運用の途なく、從つて其の金利は都市のそれよりも大なる步合を以て低下せざるを得ぬわけである。昨秋都市の銀行預金利率を引上げたる際に地方銀行業者が其の理由を發見するに苦んだものもある程で、今日に於ては地方の預金利率の如きは都市のそれよりも寧ろ低步にあるかも知れない。斯して地方の資金が都市に放出せれ得るやうになつたので、都鄙の金融の間を離隔した金利の差異が漸く除去せられ得る趨勢を生じたのである。（大阪支局）

書道の話（五）

今關天彭氏談

次に梁の武帝にも古今書人優劣評こいふものがあつて、鍾繇から王羲之以下の三十人程の書家を短文で批評して居ります。その外庾肩吾こいふ人があつて、書品こいふ書物を作つた。これが書品の名の濫觴であります。この書品には草書、楷書の書家を百二十八人舉げて上の上、上の中、上の下、中の上、中の中、中の下、下の上、下の中、下の下こいふ九段に區分を付して、それに短評を加へて居ります。唐になるこ書道が勃興したから、それに從うて品評の方も盛んに行はれました。先づ李嗣眞こいふ人が書後品こいふものを作つた。これは李斯から唐に至るまでの書家八十一人を十等に分けて論評した。其の分け方は書聖こも云ふべき張芝、鍾繇、王羲之、王獻之の四人を一類こし、外に上の上品、上の中品、上の下品こいふやうに九品に分けて居ります。

又張懷瓘は、三品書斷こいふ書物を作つて神品、妙品、能品の三階級に分けて、これで昔から唐にいたるまでの書家を論斷して居ります。この人は隨分妙なことを考へ出しました。夫れは何であるかこいふこ、書估こいふ書物を作つて書家の値段附けをしてたのであります。今日に於ける書家の相場附けは、この張懷瓘から始まつたのであります。この書に據るこ、當時は王羲之の流行が其の極點に達して居るやうであります。或る大官が數百萬貫の財產を傾けて、漸く王羲之の行書五枚を手に入れたこいふやうなことも見えて居ります。今日の書畫の値段は、所謂成金相場で、唯名聞好きな無節制なさうして無學な能い標本こして、識者の指彈する處こなつて居りますが、張懷瓘の時、即ち唐の玄宗の時は、支那文藝の大發達期であるから、書道の妙味を玩味しての値段であらうこ思ひますが、夫れにしても隨分高い値段であります。餘談は措いてこの書品や書斷に倣つて作つたものは續々ありますが一通り取纏つたものは宋の時に出來た續書斷で終點を告げ、元、明になるこ取纏つたものがありませぬから、鳥渡不便を感じます。清朝になるこ例の包世臣が國朝書品こいふものを書いて、清朝の諸名家を神品、妙品、能品、逸品、佳品の五つに分類し、神品一人は鄧石如の隸書こ篆書こなし、妙品三人は鄧石如の八分及び楷書、劉墉（石庵）の楷書、姚鼐（姫傳）の行書こしてあります。 ―(未完)―

歐洲より歸りて（五）

於實業家修養講話會 河野醫官講演

私の著いた旅館でも、警笛が鳴つたので、私に早く地下室に逃げなさいこ頻りに言ふが、未だ飛行機の襲擊を見た事の無い自分は、大した事はあるまい。此處で澤山だこ言ふこ、いや夫れは危險です、是非お逃げなさいこ言ふので夫れぢやあこいつて地下室に行つて見るこ老若男女が澤山避難して居る。自分は夫れに入るのもいやだから階段に腰を掛けて居るこ彼是二十分も過ぎた頃ブーブーこ喇叭が鳴つた。之は自動車で危險は去つた事を知らして步くのである。長い時は二三時間も地下室に逃込んで居ねばならんさうである。自分が巴里に滯在して居た當時は、飛行機は毎日やつて來る。夜計りではなく朝の七時頃にもやつて來るのであるから人心恟々たる有樣であつた。或る日遠くの方に當つて大砲の音がする。多分飛行機がやつて來たので此方から大砲を擊て居るのだらうこ思つて居た所、夫れは獨逸の長距離砲である事が判つた。何でも巴里の附近にある停車場に砲彈の破片が落下したので調べて見た所、獨逸の長距離砲の彈丸だこ云ふ事が判つたこ云ふ。飛行機の襲擊を受けた所で戰爭の大局を左右する迄には至るまいが、兎に角巴里の天空には始終獨逸飛行機が現はれて威すので巴里から他に避難する者も大分あつた。そんな次第であるから、巴里を緩くり見物する事が出來なかつた。巴里はパンの美味しい處こ聞いて居たが瑞西から行くこ其美味なる事が著るしく感ぜられる恰度田舎から江戸に出た樣なものであつた。巴里では瑞西の樣にパンの制限は爲て居らないから相當に食へる。食糧は缺乏して居らぬ樣だが、金貨抔は巴里では求める事が非常に困難であつた。田舎でも、ボルドーでも同樣非常に貨が缺乏して居つた。巴里こボルドーこの間は汽車で約一日掛る。朝出發すれば夕方に著く。巴里から避難する者も少くない。自分も巴里は濟んだからボルドーに行くこゝ出發の前夜停車場に赴いて荷物の託送みする事に致した所、夫れは受付ける事が出來ないこ言ふ。そしてごうしても內に入れない。自分は無理矢理に政府の命に依つて來て居る者であるから便宜に取計らつて貰ひたいこ申込むこ、さうか、夫なら內へ入る事丈は宜しいこ許して呉れた。然し內に入つたけれども荷物はごうしても受付けない。之は混雜が醜い爲めであらうが、受付けて呉れぬので、ごう爲やうかこ考へて居るこ巡査が通り掛つたので巡査に頼んで驛長に談判し、旅行券を見せ、許可書に依つて辛うじて荷物丈は託送する事が出來た。我々は外國人ではあるが、身分は能く分つて居るから、餘り面倒もなく濟んだ樣である。翌日汽車に乘らうこして、符を買つて列車に乘らうこするこ、座席が無いから、駄目だ不可ないこ云ふ。然しソンナ法が無い。切符を買つて居り乍ら、列車に入つて不可ないこ云ふ事があるものかこ、無理に入り其儘廊下に立つて居るこ、發車間際になつて、車掌が座席があるからこ導いて呉れる儘に、室に入つた。そうして漸くボルドーに著いたが、非常な混雜で旅館が何れも滿員で度々謝絶せられ、やつこ一軒見付けて、一晩泊つたやうな次第であつた。佛蘭西も匆々に辭して、今度はボルドーから、紐育に渡る事こなつた。

◎廢兵器拂下
八月十二日競爭入札詳細七月二十七日朝鮮總督府官報又ハ門前揭示ヲ見ヨ
龍山 陸軍兵器支廠

瓶類
京城古市町電話二七四六番
畑兄弟 硝子工場
主 畑六一
弊工場特製人蔘エキス瓶……に限る
其他一般の御註文に可應候

パイン萬年筆
商品を吹聽するにこの邊まで誇張を要すかパイン萬年筆に就ては一語の誇張を要せず萬年筆こして備ふべき一切の効能こ特徵こを遺憾なく發揮して品物夫自身が自ら其眞價を語るべし
萬年筆使用の快味を知らむこせば先づパイン萬年筆あることを御記憶遊ばさるべし
最新線出式 六圓八十錢
銀浮模樣飾付 四圓九十錢
實務 三圓八十錢
學生號 二圓八十錢
ビジネス事務用ペン 一圓九十五錢
發賣元 京城日報代理部
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

言論界の權威 新時代 雜誌中の雜誌
八月號 每月一回一日發行 清新の氣風を發揮する
新聞の迫害を被るものは個人たり團體たり政府たり政黨たるを問はず本誌に來れ
大勢の靜觀動觀 世界經濟の一大雄編 建部博士
來る可き新文明の研究
科學 宇宙人生 永井潜博士
國民的努力 上田博士
戰後の經濟組織 井上博士
教育大觀 大瀬博士
戰後の社會こ新道德 遠藤博士
思想上の佛國的こ米國的 加藤朝鳥
新意義 海老名彈正
支那の政黨 渡利彌生
秘密の政界 貴族院議員總まくり
現代評論家論 林源一
大將刀圭界總まくり
漫畫 池部鈞
辯護士總まくり
世界的新聞買收 牧野義智
日獨同盟說批判
東京市會總まくり
研究會を論ず 長島隆二
懸賞募集 新和歌 新俳句 漢詩 當選發表
人道の公敵 危險思想の權化 大阪朝日新聞 杉中種吉
窮せる東京朝日新聞
時代大觀 外交の無言劇 出兵は勢也 外交の戰 國の大勢
現代社會の種々相 社會觀
社會部記者の裏面
看護婦の內幕
外交家總まくり
臺灣官場
飛入實業家
京阪に於ける東京及地方新聞こ其人物
現代氣分 自動車界より見た
夜の帝都
歌劇女優總まくり
圖書館を通じて見た讀書社會
職業紹介所
海上 一年四十萬圓の大貸間
骨董界
人生哀話 五つの命
新進作家優遇
名月八幡祭 池田大伍
近來の大傑作 歌舞伎座八月興行
朝日新聞は本誌の廣告を拒絕せり今後本誌の廣告が全く紙上に見えざる時あらば其は本誌の活躍最高潮に達せし時なると天下に豫告す
一部廿錢 郵稅二錢 半年一圓八十錢 一年三圓 振替東京七五二〇 電話芝五〇七二 東京芝門金杉 新時代社

絕へず流るゝ水は常に清澄なり
★サッポロビール
多く賣行くビールは常に新鮮なり
大日本麥酒株式會社京城出張所

京日案內
京城明治町二丁目 入院隨意 胃腸病院 電話二六五九番 院主 佐々木杏造
普通一回前金一回七拾錢 別外壹回 前金(匿名一回二十錢增し)
▲申込中掲載中止の節は料金不返戾
▲六回以上の御申込は特に割引のこと
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず
普通
中等教育ある店員を望む 本人來談のこと 市內明治町一ノ五〇 小笠原
○女給仕數名入用 希望者は住所姓名年齡を知らせ 蓬萊町浦停車場通カフエー三好亭
▲子供入用 十五歲より十七歲迄のもの二名 南大門通二丁目 吉野商會
△代診及藥局生看護婦及見習至急募集す 希望者本人來院の事 仁川 佐藤病院
退店 歸鄕に付確實有利なる特約製造販賣店居抜の儘至急讓る(姓名在社)
番外
◎採用 簿記係 一名 店員 一名 但不問年齡 南大門通り五丁目 穀物問屋 齋藤商店
中古ミシン買入 御用の方は電話又端書御一報參上 京城鍾路二丁目パゴダ公園近 三二一八 楠商店
年金恩給 低利長期即時立替利息前引なし 京城永樂町一四年半迄保險不要 商品陳列館表門前下角 江州屋本店
外勤社員招聘 希望者は履歷書送附を乞 京城黃金町二丁目 共保生命保險株式會社京城出張所
社員數名至急採用 日鮮人 地方は履歷書送附市內は携帶來談(面談午前中) 龍山京町二〇ノ二 貴券部 盛山
有給外勤員募集 希望者は至急御來談あいたし 京城光化門通 電一四四七番 大日本債券會社

◇露革命主義者二百餘名銃殺

伯林來電＝露國外相チチエリン氏は駐露獨逸大使ミルバツハ伯暗殺及び暴動に參加せる社會革命主義者二百餘名を銃殺し尙百餘名を捕縛せる旨通達せり（アムステルダム電報）

◇過激派壯丁召集

チエツク軍前面の過激派主力はイモン附近にて防備を施し多數の獨墺兵を召集し又附近一帶の青年に對し動員令を下せる爲めブラゴエチエンスク附近の青年も參加しつゝあり（哈爾賓電報）

◇西伯鐵道管理不能

米國が西伯利鐵道管理指導の任に當りたる以來過激派とチエツク軍との衝突の爲め右管理の任務を盡す能はざるより管理委員エマーソン大佐は目下レニンと交渉中なり（倫敦電報）

◇日支軍事協約と出兵

支那の浦鹽出兵實行に就ては日支軍事協約の適用問題も起るべく日支兩國間に具體的協議の必要あるべしと傳へらる（北京電報）

◇對米交渉開始期

石井大使よりの電報に據れば日本の對米回答は二十五日全部到著せりとの事なれば外務卿ランシング氏との交渉開始は廿六七日中なる可しと（東京特電延着）

◇廣東國會開期

廣東國會は廿七八日頃開會せらるべし（上海電報）

◇出兵問題協議

廿六日の閣議には東條參謀次長鐵道院總裁も列席し出兵に付協議せり（東京電報）

◇參謀總長後任

上原參謀總長の辭職後任は川村元帥か又は一戸大將ならんと（東京電報）

◇東畜認可申請

東洋畜產株式會社は廿五日拓殖局に設立認可の申請を爲し來れり（東京電報）

◇辭令

廿六日左記の通り辭令ありたり（廿六日東京發電延着）

海軍造船總監　福田馬之助

豫備役被仰付

◇辭令

廿六日左記の通り辭令ありたり（廿六日午後四時半東京發廿七日延着）

朝鮮總督府內務部長　宇佐美勝夫

同勤務技師　本田幸介

敍勳二等授瑞寶章（各通）

◇金久保中將通過

旅順要塞司令官金久保中將は赴任の途次廿七日午後八時四十分安東通過北行せり（安東特電）

◇野澤少將去來

前十四旅團長野澤少將は廿六日來安直に五龍背に向へり（安東特電）

◎大總統は徐氏か　總理は渾沌

目下執行中の議員總選擧は廿五日終了せるが今回は愈に大總統令を以て發布せられたる通り八月一日に召集せらるべきが開會の上は議長其他諸委員等の選擧を經て愈々九月中には大總統の選擧行はるべしと云ふ但議員數果して能く定數に充つるや否や更に大總統が何人に決すべきやは今日尙之を斷じ難しと雖も最近の情勢に依れば湖北省の衆議院選擧は十七日に擧行せられ當選者十八名は悉く安福俱樂部の所屬議員を見たる程にて安福派の優勢は略疑ひなきが如くなれば同派にして能く現在の儘にて交通系との間に北方的親善圓滿を保持し得んには結局徐世昌氏の當選を見ることゝならんか若し夫れ總理の椅子に至つては或は北方の武將曹錕張懷芝等の節制或は南方の陸榮廷岑春煊氏等の誘引策に利用せられつゝある一方奉天督軍張作霖氏も亦自ら任ぜんとしつゝあるの狀態なれば大總統以上に渾沌たるものある可し（北京特信）

◎戰局形勢轉換　獨逸へ岐點に立つ　米兵渡來の效果

▲海洋の形勢　敵國艦隊は開戰の當初より聯合國艦隊に比し其勢力に格段なる相違ありし爲め主力艦隊の出動を試むることなく從つて未だ一たびも堂々たる彼我艦隊の交戰を見ずして今日に至れるが恐らく今後とても北海に於ける英佛聯合艦隊に對し雌雄を決せん爲め出動するが如き事なかるべし獨逸が艦の勢力缺乏を補ひ併せて聯合國の海上交通を妨害せんとして案出せるは例の潜水艇戰策なりしが其跳梁も米國の興起前後を絶頂とし聯合國の武裝商船、水雷の敷設、英艦隊の嚴密なる封鎖、就中敵潜水艇の策源地たるチステンド、ジーブルジュの閉塞に因り其活動に多大の制限を受け一方英米兩國の造船力が記録破りの好成績を擧げつゝある結果撃沈力の減殺と補充力の增大とは獨逸に二重の逆算を生ぜしめ潜水艇戰策に一頓挫を來せり最近に於ける聯合國船舶一箇月間の被撃沈總噸數は三十五萬五千六百九十四噸（英國二十二萬四千七百卅五噸其他の聯合國十三萬九百五十九噸）にして聯合國造船總噸數は四十二萬二千噸（英國十九萬七千噸其他の聯合國廿二萬五千噸）なり是造船力を正確なる程度に見積りての計算にして聯合國の海運界は獨逸潜水艇の爲めに撃沈せらるゝ船舶を差引毎月約七萬噸の新船を加へつゝある計算なり

▲米兵の渡佛　斯る形勢なるを以て現在獨逸が確實に制海權を把握せるは僅に波羅的海及び黑海の海上に過ぎずして米國の陸兵輸送の如きは殆んど豫定に遲れなく進捗せり而して西部戰線に於て新來米軍の擔任線が如何なる方面なるかは尙明し難きも所く米國陸軍總帥ペーシング氏の言に從へば今回の獨軍大攻撃開始前に渡佛せる總兵力は百一萬九千百十五人獨立して第一線の防備を擔當せる區域六箇所にして其戰線は延長三十八哩に達せりと云ふ以て現在の獨軍新攻勢に對し防戰區域たるヤトーチエリー、ランス、メイゾンド、シャンパニュに於て極力敵軍阻止に努め一方マルヌ、エーヌ兩河間の戰線より併て見ざる大逆襲を企てつゝあるに對比せば獨逸潜水艇戰策の失敗を知るべく又米國大軍の渡佛が西部戰線に影響せる程度如何を窺ひ得べし（つゞく）

◎國境の造船事業　木造船は尙ほ發達の餘地あり

伊藤遞信局海事課長談

滿鮮國境に於ける造船狀況を視察中なりし海事課長伊藤定弘氏は二十六日夜歸京せしがその談片に曰く國境の造船事業は

▲最近の勃興　で安東縣に高見造船所あり新義州に鴨江造船會社並に中村造船所の三工場の存在を見る、高見では第三資運丸（重量五百噸）を最近竣工し第五資運丸（同型）を約三分方工程を進め外に小型船二三艘の工事に着手せんとしてゐた、鴨江造船會社は百五六十噸級及び三百五六十噸の二隻が進水、艤裝を進め百五六十噸の船が工程四分程の所にあり更に

▲二百噸型船　を新手に着手せんとしてゐる、中村造船所は京日報の如く一刑事事件を生じ所有者の拘引を見たが恰度拘引の翌日百五十噸船の進水をやるばかりになつてゐたさうである、又該船の引渡しを終れば北下洞の現位置から營林廠所有地を借て移轉しやうとの計畫も立つてゐたらしい、私の觀た所では國境の造船事業は將來相當の發達を來すだらうと思ふ、唯上述の船は皆木造であるが將來鎭南浦からでも鋼材を得て鋼船を建造する事ともなれば技術にも設備にも餘程費用を投ぜねばなるまいと信ずるけれど木造船ならば猶ほ現在の儘伸び得る能力を大に有してゐるやうである、然し乍ら目下三造船所の用材は全部對岸

▲採木公司產　のものであつて營林廠材に比すれば餘程高くつくらしい、それだけ收利を殺がれてゐるわけである、造船材たる紅松落葉松は朝鮮側にも決して乏しきを憂へぬのであるから今後は營林廠より供給を受くるやうに造船所側も要望し營林廠當局も可能と言つてゐるさうだから今後有利になるであらう、又目下建造中の船は何れも會社や個人の註文に係るのであるが艤裝費を除き船體は噸百圓內外らしい、幾分か內地に比して安いけれども木材は採木公司より購入のものでも內地に比して高い運賃を出して送つて行合ふと云ふ位の値だから結局

▲相當の利益　はある譯じ更に營林廠材が安く買へれば一層利益は殖らう、遞信局では可成朝鮮造船事業の發達を企圖したいと思つてゐるから國境駐在の技術官に造船設計の監督や工事の指圖まで公務に差支ない限り行らしてゐる、それで國境造船所の由する所は少くあるまい、それから海運界活況の昨今とて造船所の進水のすんだ船があると云ふとすぐ販行き積荷の申込みが一杯になると云ふ有樣だとの事である

大阪より

▲日華紡織創立　河崎助太郎氏の買收せる上海支那紡績を讓り受け之を根柢として組織されたる日華紡織株式會社は十九日創立總會を開き資本一千萬圓廿萬株一株五十圓の中第一回二十圓拂込の件其他を議了し重役選擧の結果取締役に和田豐治、河崎助太郎、伊藤忠三、田邊輝雄、矢野慶太郎、喜多又藏、日比谷新二郎、監査役には戶田藏、野村德七、茂木總兵衛の諸氏當選せり

▲加奈陀禁輸增加　本年二月十四日附加奈陀關稅省メモランダム中特許規定の一部は六月五日附更に同省メモランダムに依り改正せられたり其改正の要點は從來禁止品中其輸出に對して在ウイニペッグ市穀物監督委員會の承認を經るを要したるものは小麥の、なりし所大麥、燕麥、ライ麥、蕎麥、玉蜀黍及び豆類も亦小麥と同じく其輸出には同委員會の承認を要する事となれりと

▲銅貨恢復氣勢　米國公定銅價廿三仙を八月十五日迄の期限內に七月二日より八月十五日迄の期限內にて三仙を引上げ廿六仙と發表したる以來英國も標準銅百廿二磅四分の一電氣銅百六十四磅四分の一に引上を發表したる標準銅は米國と同率の引上げなるも電氣銅百十四磅四分の一は差引一仙當時の高値にして引上げの率既に公定當時の相場に伯仲を見るに至らんとする勢なるを以て本邦銅相場も急に恢復の氣勢となり六十二三圓を往來しゐたる同品は昨今電氣銅七十五圓粗銅七十二圓見當を唱へ電氣銅は昨年高値七十八圓に漕付けん勢ひなるが米國公定の二十六仙は世界的相場なれば此標準を拔く高相場は要するに國內相場にして海外取引相場は二十六仙標準なること云ふ迄もなく八月十五日後米國は三十仙或は二十八仙に公定を引上ぐる意嚮ありしなりと思惑取引の旺盛なるに伴れ風說紛々たるも銅價には依然軍需品に影響を波及する以上米國は猥りに之を引上げ交戰國の影響を顧みざる筈なく思惑暴騰は一面に危險を伴ふとは爭はれずと

▲伊國向貨物扱　滿船中の伊國向貨物は目下佛國官廳の締切中に紐育に於て處理せらるゝも受取主の氏名及び仕所の明示を缺ける爲め未だ指圖渡しとして伊國へ仕向けし爲め英領埃及ポートセードに於て抑留せられ紛議を生じたるが在日本英國大使は本國外務省より右貨物の抑留解除せられ仕向地へ送達せられたる旨と更に右樣の支障を避くる爲め今後一切の貨物は指圖渡しと爲さず現貨の受取に渡さして仕向くべきの入電あり右在日英大使館より注意ありたるを以て今後伊國向貨物は之に準據するの必要あり

▲豆粕紛末決　豆粕は買方竹內の讓步にて須賀事件は解決するに至りたれど大合側のチャーター船屆壽丸積込の豆粕二萬三千枚は須賀同樣雨濕の爲め入船遲著するに至りたるに關し買方側にては渡通知書が屆いた前に逸行しあるを口實として受け取らざるにより紛擾を惹起し居れるが之が解決困難の爲め市場は稀有の閑散を呈し居れり（大阪支局）

◎米國輸出激增　世界輸出額一半

▲開戰前の地位　今回紐育ナシヨナルシチーバンクの發表したる所に據れば戰前北米合衆國は世界各國製造品輸出上英國獨逸の下位に在りしが戰爭の結果一躍して今や世界第一の製造品輸出國と爲れり一九一三年世界各國製造品輸出の全額は大約英國二十三億七千五百萬弗、獨逸十六億七千五百萬弗、北米合衆國十億九千九百萬弗、佛蘭西七億七千五百萬弗、白耳義四億弗、墺匈國三億七千五百萬弗、和蘭二億五千萬弗、伊太利二億七千五百萬弗、瑞西二億弗、日本二億二千五百萬弗、印度二億一千五百萬弗、加奈陀七千七百萬弗、西班牙五千萬弗、瑞典一億弗等、合計約七十七億弗にして內北米合衆國の分は全體の八分の一に當す然るに戰爭の結果獨逸、墺匈國、白耳義及び西亞の製造品輸出は殆ど停止の姿と爲り佛蘭西、伊太利及び和蘭の其れは非常に減少し英國及び歐洲中立國の其れは著しき變動なきに反し北米合衆國、加奈陀及び日本の其れは著るしく增大したり

▲世界輸出の半額　米國、加奈陀及び日本の製造品輸出增加は主として聯合國側に對する軍需品供給のためなるも北米合衆國に在りては右の外歐洲開戰以來英國、佛蘭西、伊太利及び獨墺及其他の諸國より南米、亞細亞、亞弗利加、大洋洲諸島。阿弗利加及び歐洲中立國に對する製造品の供給減少の結果自然北米合衆國より主に之を補給するに至りたることも與りて力あり北米合衆國製造品の輸出は一九一五年には十七億九千百萬弗、一九一六年には三十五億三千七百萬弗、一九一七年には四十億千九百萬弗に激增したるか一九一七年英國の製造品輸出は二十億三千萬弗に過ぎず此の如く戰爭の結果世界各國製造品の輸出に著大なる變遷を來したれども結局全體を通算するときは一九一七年の世界各國製造品輸出總高は一九一三年の其れと大差なく約八十億內外にして內北米合衆國の分が前者の八分の一に對し後者の二分の一に增大したるは特に注意すべき現象なり

▲四年間に四倍　前陳の如く北米合衆國の輸出は過去四年間に四倍の激增を來し又現に英國の其れに二倍するに至りたるが右の增加部は拉丁亞米利加、亞細亞、大洋洲諸島、阿弗利加及び歐洲中立國へ輸出せられたるものとす一九一七年中米國製造品にして戰爭用に出せられたる主なるものは爆藥六億三千四百萬弗、主として彈丸に用ふる化學藥品一億九千三百萬弗、銃砲九千七百萬弗、針金四十萬弗、亞鉛四十萬弗等なり（矢田總領事報告―東京）

◎京畿秋蠶發生期

京畿道管內に於ける秋蠶の第一回は來月二三日頃より發生すべく目下何等障害を立つべき材料なきも桑葉の伸長並に氣候順調なるを得つゝあれば隨つて相當の成績を擧げ得べき見込なりと

▲關屋局長講演

關屋學務局長は廿七日午前十時より前回に引續き附屬普通學校に於いて公立普通學校教員講習會員に對し本府教育の方針に關し講演を爲せり

◎有賀理財課長歸期

殖產銀行設立要務を帶び內地へ出張せる有賀理財課長は此の程要務を了したるを以て請暇の上鄉里へ赴きたるが八月五日迄には歸任の豫定也

◎佐藤軍醫部長東上

佐藤軍醫部長は八月上旬陸軍省に於て開かるべき軍醫部長會議出席の爲め二十七日朝龍山發列車にて東上せり

◎商銀出張所昇格

朝鮮商業銀行東大門出張所は目下鍾路四丁目角に鍊瓦造營業所新築中なるが業務の發展に伴ひ今般支店に昇格し現所長中原晉作氏支店長に就任業務の擴張を圖る由

哈爾賓より

廣田忍堂

松尾總領事閣下、小生は滿洲各地の視察を爲す可く過る十八日元山を發し途中奉天、長春の視察を遂げ本日哈爾賓に著仕候日本出兵問題は哈爾賓の人心に如何に動搖を來したるか殊にユダヤ人の多き當地に在ては日本は軍國主義に依る出兵なりと曲解せる向多く見受けられ寧ろ出兵の急を訴ふる者は滿洲里方面より多く叫ばれつゝあるものゝ如くに候、小生は昨日當地を發し吉林にも立寄り夫より南下す可く候（七月廿四日）

人事消息

▲小山今之氏（熊本縣辯護士）廿七日朝入京南山へ

▲松井元山稅關長　同上

鳥瞰雜俎

◎西部戰線に於ける獨軍の飽無き攻撃開始よりの決策は今春總攻撃開始より…然に聯軍は今や獨軍の戰術戰略を呑み込む故に攻撃却て逆襲の恐あり

◎一說によれば今度の攻勢は…獨逸の參謀總長は八十の老朽七八歲の小…

◎佛軍の…微せずんば豫備編成至難ならん

◎聯合軍が…推測する絶好の材料ならんか

◎成る程今度の西部戰況に對照すれば思ひ半に過ぐるものあるべし

◎西伯利の例の政府の睨み合は兩者とも孰れも西伯利を知らず國民を知らず

◎彼西伯利は堀輪士を賜つて曰く亦未だ何事か出來るかと

◎先づ頭割れを見よ一人の紳士あり、孰れか露國鰻の雌雄を知らんや

◎米船十七日間に二萬六千噸を進水され同期間に十三萬餘噸を建造

◎米紙盛に揚々として曰く造船界無雙

◎米國は實に日の出の經濟的帝國主義の八方猛進は實に世界無雙也

◎今や東洋方面にも其恐るべき勢力を

◎近時支那に於て我帶敗著々進行するや米國の瞰視する能はざるの姿

◎西伯利出兵の如き軍隊の後より商業を進せんとする外に非ざる也

◎臺米移入餘力

[illegible]

看護婦募集廣告

志願者は履歷書に身體檢査證を添へ至急申出べし詳細は當方へ承合すべし

大連　滿鐵大連醫院
奉天　南滿醫學堂附屬醫院

中學世界

八月號＝清新の氣躍る

▼大好評　漫畫展覽會（前後）

▼虛弱な人の強壯法

▼方針を誤つた秀才の末路

▼筑波霞ヶ浦團募集

漁夫の群に投じ太洋に出漁記

▼受驗生の囈語

小說　新任教師

燈臺守となるの記

定價金貳拾參錢　郵稅二錢　東京本町　博文館

顧問　大隈侯　五博士

種苗定價表　無代進呈

社長　三枝守富　相談役　牟田口元學

東京內藤新宿　東洋園藝株式會社　振替東京二四三五七番

朝鮮で始めて出來たお伽本

少年少女の讀物出來

■少年少女の智能が餘程進んで居る今日では爺婆的のお伽噺では滿足が出來なくなつて新しい智識を得るお伽噺を渴望して居る事は事實です

■今回發行のお伽噺は文意が平易で總て新智識によつて作られて有りますから尋常一年生でも十分に讀めます而して眞に勉學の助けとなります殊に暑中休暇の讀物として好適なものであります是非御一讀を乞ふ

教訓お伽噺　八島柳堂著　古賀祐雄畫

菊判本二百五十頁　定價三十五錢　郵稅二錢

（八月上旬發行）

發行所　京城太平通一丁目　振替京城二〇〇番　京城日報代理部

旅行用具一切
京城本町一丁目　電話二三四番
高木旅行用具店

朝鮮總督府編纂「最新刊」

東部西伯利地圖

定價金參拾五錢　郵稅二錢

右部數僅少品切れとなるの恐れあり至急御注文被下度候

京城太平通

發賣元　京城日報社代理部

電話長六〇〇九番　振替京城二〇〇番

開業廣告

時下各位益々御清穆奉賀候小生儀嚢きに合意の上滿洲商產株式會社を解し東亞產業株式會社を組織し其定款に依り各種事業の施行に相努め今回漸く開業の運に相成候に就ては今後共倍舊の御愛情を賜り度奉願上候

大正七年七月

大連市三河町　電話二二八七番

東亞產業株式合資會社（資本金百萬圓）

無限責任社員　社長　村岡角輔

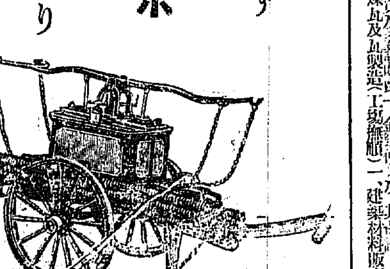
支店　奉天、撫順、鞍山站（準備中）

營業種目

一、農事經營及綿羊の飼育　一、土地建物賣買仲介並管理　一、各種商品賣買及委託販賣　一、金融仲介及其保證　一、燒酎製造　煉瓦及瓦製造（工場撫順）　一、建築材料販賣

多くを論ずる勿れ

朝鮮のポンプは熊平なり



京城本町　熊平支店　電話長一六一二・五四番

木材防腐防蟲劑

專賣特許　クームヒン

塵芥箱下水板家畜小屋等に塗布する時は木質の保存のみならず蠅及蚊其他の昆蟲を撲滅し其來襲を絶無ならしめ消毒殺菌の効最も甚大なり

定價　一罐八十六錢

市內到る所の藥店にあり

京城旭町一丁目電話一〇七八　振替三二九六

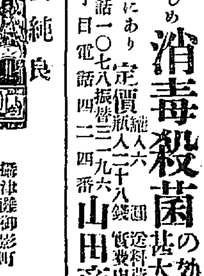
龍山元町一丁目電話四二四番

山田商店

大日本優等清酒

ハクツル

品質純良　衛生無害



攝津灘御影町　釀造元　嘉納合名會社

京城本町二丁目廿番地　發賣元　前田酒店　電話一三七　振替口座四一二五番

內科　小兒科

村上病院

京城永樂町一丁目（商品陳列館前）　電話六一三番

院長　醫學士　村上龍藏

副院長　得業士　瀨々鍋郎

[illegible]れば

●移入高年度比較 月別 明治四十一年以後五ケ年移入平均 大正六年移入

月別	明治四十一年以後五ケ年移入平均	大正六年移入
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]

[illegible]移入一六四、八四三石十二[illegible]五、〇八三石にして九月一八、[illegible]九三石最高を占め三年度は一二、[illegible]大正八月に於て移入額は最高を示せり要するに二期收獲なる鮮米が內地移入は上期一、十二月下期

▲增加移入能力 を示せ[illegible]八割強の[illegible]總額の約七割六年度に於ては同樣に上れるが試みに平均能力より考察すれば今の移入は蓋し約六十萬石の餘力を存するものといふべき

[illegible]三十八圓にて前年度末に比し十四[illegible]萬四百八十三圓を增し預金は八萬五千三百九十五圓にて同二萬一千[illegible]にて鮮人の手元豐か[illegible]この際[illegible]貯金を奬勵し低利資金の運轉に[illegible]

○獨逸がソロソロ講和風を送って來たのは佛米軍に今度散々痛めつけられたのに困るか

歐洲戰場に於ける佛米軍の奏功は久方振りに快哉を叫ばしめた、過般の獨逸も最早常勝の氣力盡きたのであらうか右に付き某消息通は評して曰く『獨軍は今度も從來の如く敵の虚を覗ふの策に出たらしいが併し

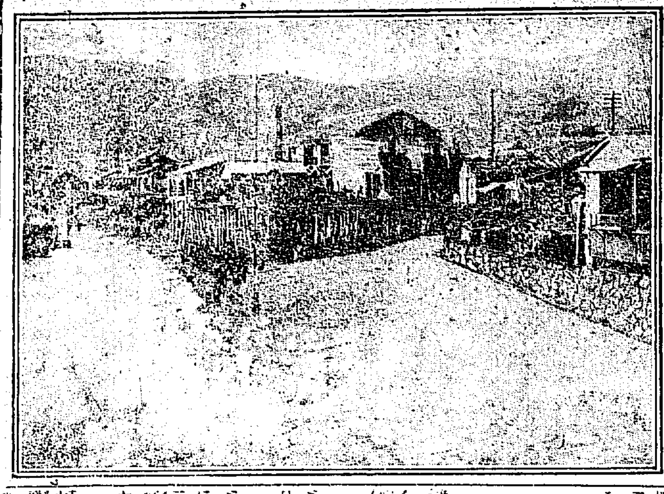
◆聯合軍に 於て前日の失敗もあるので油斷無く備へてゐたらしく而もマルヌ附近に進出せる敵の背後を突くべくソアソン附近より多大の成功を以て進擊したといふのは頗る作戰の當を得た樣である、此の聯合軍側の勝利は益々戰況を興味深くさせた、併しこの戰勝が何時迄續くかといふ事はまだ據斷が出來ない、即ちタイムスは既にモンテーニユ・ソ・ランスに向つて獨軍が恐るべき

◆大運動を 起しつゝある事を報じてゐる位でまだ獨軍の眞價を疑ひ出すには早過ぎる、元來獨逸軍隊の特色は彼の國民性が露骨に表白する如く統一深き防禦的にある而して佛蘭西軍の眞價は寧ろ翁が常に利用した樣に彼の奮撃的攻擊にある從來獨軍が常に先手を競つて攻勢に出たのは即ち獨逸の弱點を告白したもので即ち最も安定的

◆防禦の地 を求めんとして攻勢に出たものと云ふ事が出來る而も獨逸國內の輿論は何うであるかといふに表面に於ても昨年七月ホルウエツヒ首相の更迭した

當時既に議會は平和決議案を可決し現在に於ても議會の大多數は大獨逸主義反對の穩和派とは正に反對なる社會民主黨及び中央黨が占めてゐるのみならず彼のキュールマンも『戰ひに依つて勝敗の決し難き』を告白した位で平和を

◆熱望する の空氣は國內に充實してゐるのであるから萬一戰局刻々獨軍の敗に歸するやうな事となら□講和の叫びは遂に獨逸をして武器を捨てしむるに至るであらう、併し夫は聯合側にのみ都合よく行つた時の話であつて獨


◇激浪に襲はれた釜山南濱附近

○暑さの記錄

最近七年間に於ける

▽京城（溫度は華氏）

年次	最高氣溫	起日
大正元年	九三度二	八月五日
同二年	八九度六	七月卅一日
同三年	九六度一	七月廿六日
同四年	九四度六	八月三日
同五年	九一度八	七月三十日
同六年	九八度一	六月十六日
同七年	九七度〇	七月廿五日
平年	九二度九	七月廿九日

▽仁川（溫度は華氏）

年次	最高氣溫	起日
大正元年	九三度〇	八月五日
同二年	八八度三	七月卅一日
同三年	九四度五	七月廿六日
同四年	九一度八	八月三日
同五年	九〇度一	八月廿三日
同六年	九五度〇	八月廿三日
同七年	九五度五	七月廿五日
平年	九二度一	八月五日

逸軍が大程敗戰するとも思はれない併し目下兩軍の開始せる大運動が或は冬期休戰狀態に入る迄に何等か講和問題に對して解決の鍵を齎すのではあるまいかと思はれる

○幾らする煙草の値上 二割程度か近く發表を見ん

來る八月十日より煙草稅令改正實施に伴ない朝鮮內に於る各種煙草は一齊に値上を實行さるべく各製造業者に於ては一兩日中に其改正定價を發表する筈

◆定價の發表 を爲すに至るべしと觀測せらる而して京城府內に於ける七製造業者は既記の如く過般來其の値上率に關し稍々協定中なりしが大體に於て約二割內外の値上を爲すことに協定纏りたるもの、如し而して卷煙草に於いては口付及び兩切を通じ五六種に關する二錢値上げの外概して一錢値上げらしく又改正せざるもの二三種あり刻煙草は四十匁を標準とし十錢乃至二十錢程度

◆外國煙草に ありては輸入業者即ち販賣者にして區々なる爲め一定し居らざるも大略從來より二割乃至三割程度の値上げなるが如し今回の値上げは始めの呼聲よりも低くして値上率低きが如く一部の口付卷煙に就ては二割餘の値上げを見るべきも其他のものに在りては約一割五分位の値上げなるべしと觀測せられつゝあり大正六年中に於ける京城府內の

◆煙草消費高 は總額七十四萬七千七百五十七圓に達し居る狀況に付卷煙刻煙外國煙其他を通じ今回の値上を平均二割五分と假定すれば一般消費者側の新負擔は十八萬六千九百餘圓を算することゝなる譯なるが又京城中で一番消費高數量價格の多いのは兩切卷煙で數量二億四千四百八十五萬四千百五十四本此の金高四十四萬二千〇四十三圓と云ふ驚くべき數を示し居れり

○暑熱 京城は二度目 仁川は始めて

本月下旬雨三日降り續いた雨が漸く歇つたと思ふと俄にカツと照り付け如何に土用とは云へ之れは又

◇調子外れ ではないかと思ふ程暑くなつた、殊に二十四日は京城で約三十三度仁川で三十一度を示した位、折柄雨後のことて蒸し暑いこと話にならず夜間に至るまで苦熱を感じたが更に翌二十五日は朝からカラリと晴れた好天氣おまけに微風さへないと來たので

◇一層の暑 さ寒暖計の水銀は狗りしたやうに途方もなく飛び騰つた、この日最も暑かつたのは午後四時で京城では三十六度一分（華氏九十七度）仁川では三十五度三分（華氏九十五度）五分に達し、それこそ岩の石も燃ゆ漢江の水も赤沸るかと疑はれた、人、牛馬、犬など凡そこの地上に生きとし生けるものは無論氣息奄々、等しく燒け死なぬのが不思議に思はれた位である、京城で斯んな

◇暑い見せ たのは昨年の六月十六日でこの時は三十六度七分（華氏九十八度一分）まで昇つたが、これを除くと今度の暑さは觀測所始まつて以來ないことで實に十餘年間の最高記錄である仁川では從來前にもこれが始めての暑さである

女先生の染色實習（二十七日中央試驗所にて撮影）

○京都派の示威運動に 對する今度は東京側の反感 文展の審査員は選任難か

本年の文展に於ける第一の問題たる審査員の選任を圓滿に遂行すべく正木文展主事が去月初旬京都に赴き、有力者の輿論を容れて京都側で最も嫌ひな東京側の審査員北蓮、十畝を更迭し

◆新進畫家 に代へる默契をして來たことは既報したが事情を聞くと、現在の東京側日本畫審査員中玉堂は京都側審査員との折合が宜い、廣業、觀山は沈默を守る場合が多く、翠雲は多少論じても常に事を障らずの態度である、只十畝、北海に至つては

◆堂々主張 を論じて容易に讓らぬ、是に對して京都側の百鏡・栖鳳が陣頭に立て爭ふがいつも壓倒され氣味である、昨年の文展に竹橋の風景双幅中の一點が、自信もあり先輩知己からも推奬されたに拘らず落選の憂目を見たり京都側新派畫家の成績、不振だつたのも十畝、北海の

◆辛辣な舌 鋒に祟られたのだとか、こんな事から京都側では憤る所あり栖鳳門下の麥僊竹橋、紫峰等は師を顧問として國畫創作協會の旗揚げとなつて文展に對抗の氣勢を見せる栖鳳も正木氏の上洛を迎へて自ら中心たる繪畫專門學校出身の一派は文展に出品しないこの

◆意志を陰 に陽に表示したとも傳へられるだがさて肝腎の正木氏が東京側に對して北海十畝更迭一件を內々交渉して見ると今度は京都派の態度に對する憤慨の聲が昂まり審査上の意見を異にするだけの事に京都派の

◆威嚇運動 に恐れては文展は全く蹂躙されるとの意見が出た、從つて審査員の發表を見る迄には幾多の波瀾曲折は免れまい

○この暑さと盛りに 市內各學校の女先生たち

赫こ熱い瓦斯七輪を取卷いて染物のお稽古＝成績がいゝので一週間延期＝

中央試驗所ではこの頃市內各學校の女先生を集めて染色講習會を開いてゐる

◆參加の會員 は於義洞普通學校の飯塚近、中島ふみ、文仁順、京城女子普通學校の平松こめ、梅野春、鬼平つた、李京華代、淑明女學校の中川糸、金慶子金剛順、京城女子技藝學校の堀千の十一先生、何れも白いエプロン袖を二の腕まで捲くり上げて火こ云へば見ただけでも卒倒し相な昨日今日の暑さに、二人三人づゝ赫こ灼熱した瓦斯七輪を取卷きグタグタ煮え立つ

◆染料の中に 小さな白布を浸しては引上げ引上げては又浸す、その暑いこと暑いこと、額からは玉のやうな汗がタラタラ流れてゐるけれど格別苦し相な顏も見せず『あら嫌だ斯んな汚い色に染つて了よ』なぞ頗る熱心なものゝ、今のところ染色は先づ小手拭べのやうなものだが來週からは

◆應用染色の 實習に移る筈、これに就て上田講師は語つて曰く『初めは敎授が困難だらうと思ひましたが出席の會員は何れも染色の經驗があるとて敎へた事柄がよく頭に這入るので驚くほど熱心なのでズンズン捗ります今遣つてゐるのは染色の極く初歩で皆さんには迷惑だが系統的に敎へるには何うしても必要なことだから遣つてゐる

◆最初は今週 中に一通り講習して仕拂ふ豫定であつたが成績が好さ相なので特に來週一杯講習することにしました、來週は應用染色を敎へることになつて居ますが普通學校先生が大部分を占め講習の結果は主として朝鮮の家庭に專へられるのであるから、應用染色も自然この實狀に添ふやうなものを選び、或は絞染

◆或は周衣の 染直しや仕上げ法をはじめ絞り染など專ら家庭で應用し得るものを講習する方針です、家庭染色は藥品を二三混合するものは甚く應用の範圍も廣く、極めて有益な仕事であるから大いに奬勵し度いものである、殊に朝鮮の家庭で行はれてゐる染色法は實に不合理な亂暴なものなので、一層この新しい染色法を奬勵し度いと思つてゐるが、それには

◆矢張斯うして 講習會を時々開いて甲から乙へ乙から丙へと段々推擴めて行くのが一番有效であらう』

○若き女の入水

廿六日氏名不詳の二十歳位の下女風の女一人馬山海岸にて入水せり覺悟の自殺なるべしと（馬山特電）

○僕は役人で貧乏だよ と言ったが鈴木さんを

殖銀の頭取と睨んで賣らうを覗つた粗忽しい男があつた

朝鮮で殖産銀行の重役に何人がなる、イヤ誰れだらうと噂に彼分下馬評もハゾンであるが東京で度支部長官の鈴木穆氏を殖銀頭取扱したと云ふ男がある何でも

◆謂れ を聞くと、長官は本月の何東上後イザ殖銀株の公募廣告をしやうとする前、いかにして殖産銀行の內容實質を詳しく世界に知らしめやうかと云ふ事に非常の努力をした、何でも六七兩日で自動車代が百五十圓も拂つたと云ふから假りに一時間四圓と拂つたとしても三十八

◆時間 乃ち一日十九時間乘り廻したと云ふ勘定になり、いかに挨拶の爲くに廣い東京を駈けずりまつたかゞ知れる、その熱心さその盡力が大なるものであつたので、コレは的切り鈴木氏が殖産銀行の頭取になる[illegible]らしいぞと云ふ評判が[illegible]

鈴木氏が歸任前表面の宿所[illegible]裏面の宿所はお宅で時を々過つてゐた……の

◆停車 場ホテルに荷物の出張をやつてゐる男が但馬を訪ねて來た結局長官があつて見ると云ふのでやつた、ご長官はその……用はある[illegible]つた部分だけ買つて見れば[illegible]ず僕は役人で御承知の如く貧乏だ、然し一部や二部ならいつでも買ふ、唯十部か二十部とも云つては一寸要がないではないか、ごきはするさ、（殖銀株取扱）官が殖産銀行の頭取にかられるぞ云ふ事

◆確聞 したから無理な勸みに推察したのですの事に當つて見ると長官も失笑しもならず、[illegible]出てゐますか、そんな事になれば僕の懷中も今日よりは肥ゆる譯だから、任命な見たら君の云はれる株の申込みが有れば、但し今日の所買取りになるかならぬか分らぬのであるから、一切の取引は辭令に接した上の事にしやうと云つて別れたさうだ

◆長官 は今回東上げ用事の[illegible]のでよ[illegible]したらしいがコレには最も面喰ふたやうだとは某氏の話 である

○全南の暴風雨

二十六日東南の暴風雨來襲し全南麗水、順天、筏橋江沿岸の被害多く水田の浸水七百町歩流失二十町歩堤防道路家屋漁船の破損多數の見込なるが人畜の死傷なし損害は目下取調中なり（光州特電）

○金剛山行自動車

金剛山探勝自動車運轉營業に就いては先に許可を得たるが尚平康長安寺間及び昔陽驛溫井里間の自動車は定期運轉日以外にも貸切をなさしめざる由にてホテルに於て長安寺[illegible]寺洞間溫井里海金剛間は溫井里三日浦[illegible]自動車運轉方の請求ありたる時は[illegible]片道二圓の料金を徴收し[illegible]の請求に依るも之に應ずべく所定以上に時間待をなす場合は一時間毎に一人に就き一圓を徴收すべしと而して臨時運轉區間に要する里程は左の如し寺洞溫井里間[illegible]溫井里海金剛間四里溫井里三日浦間三里なりと

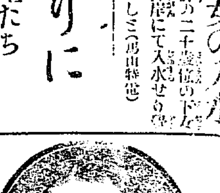
○湖江保養所へ寄附

[illegible]及び[illegible]長谷川[illegible]氏は遊戲の意を以て金若干を南大門外三坂通鐵道保育兒京城支部へ寄附せらる

○聯合淨瑠璃千秋樂

[illegible]淨瑠璃は廿八日七日目にて千秋樂のため[illegible]なる人々の出演あり語り物次の如し[illegible]

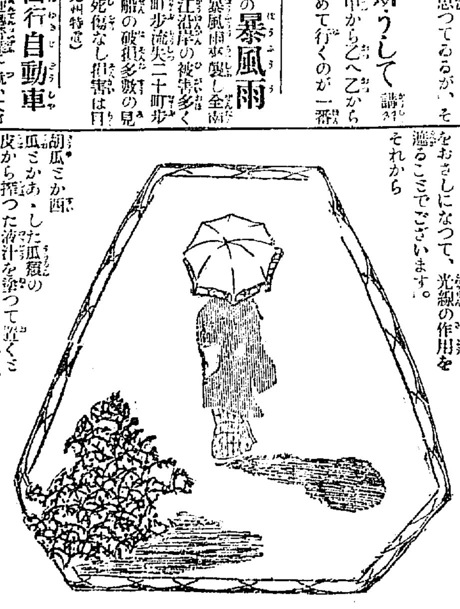
日焦と皮膚 松本幸四郎談



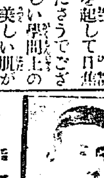
日焦の原因は此の理由

日焦を助ける汗の塩分

御婦人方が夏分一番恐れますのは、日焦でございませう。日焦こ申しますと、日光に晒されて、皮膚が黑くなることのやうに、普通私共に考へますが、專門家のお話をうかゞひますと、日焦は太陽の溫熱から起りますのではなくて、太陽の光線の七色の外に、目に見わない紫外線と申すのがありまして、それが化學作用を起して日焦こいふものになるのだきうでございます、さういふ六ケしい學問上のお話は兎も角として、美しい肌が日に焦けますのは、むごたらしい感じがして御婦人方が苦痛に思召すのも無理がございませんそこで日焦を防ぐために、いろいろの方法も講ぜられて居りますが、先づ第一番に、外出の時には必ず洋傘をおさしになつて、光線の作用を遮ることでございます。それから



胡瓜とか西瓜とかあゝした瓜類の皮から搾つた液汁を塗つて置くと宜しいとも申しますし、粉白粉を叩いて置くと宜しいとも申しますなるほどそれも多少の効力はあることゝ思ひます。けれどももつと大切で、常に氣をつけて居なければなりませぬことは、暑さのために汗が皮膚の表面に沁出ましたならば、ハンケチなり手拭なりで、一刻も早くそれを拭ひ去ることでございます。何故かと申しますに御承知のとほり汗には塩分が含んで居ります。その塩分は日焦の媒介になるものであることは、海水浴の經驗がよく證明して居りますかう考へて來ますと、日焦を防ぐ上に、一番肝腎なことは、常に汗氣の無い清潔した肌にして、日焦の作用を追ひ拂ふことでございます。それには毎朝の洗顏、毎日の入浴の折は勿論、外出の前後にお顏やお手をお洗ひになる際に、日本人の肌に適するやうに精製されてありますミツワ石鹸をお用ひになつて、肌を上面だけでなく、根本から美しく清らかに整へ上げることです。入浴で申しますならば、お湯にほとびた肌へ、掌で溶きますと、汗や汚れは吸はれるやうに氣持よく泡に混じつてしまひますから、そこをお湯で洗ひ流しますこと、汚れは全部落ち盡して、滑らかな肌に整へ上げられます。お湯から上りましたら、その滑らかな肌へ、ミツワ雪の手を塗つて置きますと、立派な健かな肌になつて居まして日焦になる折も自然少くなる譯でございます。



▲市川壽美藏曰く 蚤や蚊は防げましても、暑い夏の夜は兎角寢苦しいものでございますが、家庭用香水のミツワ花の雫を、夜具の襟や敷布などに振りかけて寢みますと、心も安らか爽かな芳香が漂ひまして、快く眠ることが出來ます。朝寢起きの顏を洗ひます時、洗面盤の湯水の中へ、このミツワ花の雫を四五滴たらして用ひますと氣分が引締くして、身體までが頓に健かになつたやうな感じがしますまたミツワ石鹸の雪のやうに白い沫を塗りまして、靜かに撫でま[illegible]

發賣品目錄進呈 東京橋町 丸見屋商店

醫學士小山田[illegible] 家庭治療法 三〇六頁

本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に說へ、醫師にかゝるまでの親切な相談相手となるものである。定價金五十錢。但し半額（郵券代用不苦）を添へ御申込あれば一冊送呈す。東京日本橋區橘町 丸見屋商店（振替東京七一〇番）

銘仙めかた地

新荷着 ◆白地、及び淺色地で、かすり、縞、格子類 一反 金拾圓より金十三圓迄 ●送料 鮮內十二錢 鮮外三十錢

輕くつて涼しい、その着心地を味ひ給へ

◆地方よりの御注文は男女年齡柄向きの御嗜好等御申越し下され候はゞ必ず適當の柄相選み代金引替を以て御送り可申候

京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

銚子港 田中玄蕃釀造

ヒゲタ醬油

代理店 京城明治町一丁目 櫻正宗發賣元 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

內科 呼吸器病 小兒科 腸胃病 婦人病

京城若草町大通り 今村醫院 電話一八三二番

醫化學器械一式

Ⓚ 仁川本町 北島藥店 電話三四・振替京城六七番

京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

藥種賣藥卸商

產科 婦人科 京城壽町 電話一〇一番 醫學士 二宮亮吉 二宮醫院

醇良無双清酒 衛生無害品質無双

發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番

釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

外科花柳病 內科婦人病 入院隨意 醫學士 齋藤勇 醫士 齋藤豊六

京城本町五丁目稻荷座前 電話二〇二番 大和病院

妻の心 五十

八の四 小林蹴月作 武内桂舟畫

醉つては居るが、猿戯で鍛へた久三郎の狙ひは違はず、眞正面に坐つたお俊の眉間へがちり當つた彈ね返つた勢で、猪口はがらがらつと膳の上に打砕けたのである。

『あッ、痛ッ!』と、お俊は、黄な叫びを發して、いきなり前に突ッ伏したが、痛みを怺へて、再び顏を昴げた時には、額一面血の紅が迸り流れた。

只さへも白けはてた座敷は、少時何天と啞然この爲めに沈默の境こ變つた。

『……旦……旦那樣、俊やに何の科あつて、此の樣な酷い目に……痛ッ、痛ッ御座います。』と、お俊は、袂から手巾を出して、疵口を一生懸命抑へるのであつたが、汐時がわるいのかして、血は一向に止りさうにも爲ない。

『醉れこ云つても踊らんからだ。』

久三郎も、腹では少し御念過ぎるこは思つたが、今更手を下げて謝りも出來ない。頰を膨らしたなりで、ぐびぐび熱燗を煽つた。

『お口で被仰る分には、甚麼事被仰つても關ひませんけれども、這麼事なさるもんぢや御座いませんわ。』こ、お芳は、起つて鏡台の抽斗から萬金膏樣の膏薬を取出し、『貴方まあ、疵口の所を見せて御覽なさい。』

こ、親切に血を拭つて、それを貼つたりしてやる。お俊は、泣きながら會釈を返して、

『もう大きに痛みも楽になりまして御座いますから、歸りがけにお醫士に診て頂いて參ります。是は飛んだお邪魔を致しまして御座います。』こ、疵口を手巾で押へ付けた儘從ちかけたが、それでも御主人に對する禮儀は禮儀と思ひ直して、

『旦那樣、奥樣への御傳言は、只今仰せ遊ばした丈で、およろしいので御座いますか。』

『乃公や知らんから、貴樣の勝手にせい。』

『はい、左樣で御座い……ますか。』

お俊は、只怨めしさうに久三郎の顏を見やつたぎりで、悄々こして玄關へ出て來る。

『お俊さんこやら、本統にお氣の毒でしたね。大骨を折つたり、厭な思ひを爲たりした揚句に、眉間を割られるこは、何てこッてせう。旦那樣もおわるいには違ひないんですが、附いて居た妾が氣が利かなかつたんですから情願勘忍して下さいましよ。お目には懸りませんけれども、奥樣も御病氣を大切に遊ばしますやうね。』こ、お芳は、其處まで送り出して來ながら、頻りこちやほや世辭を並べる。

『什う致しまして。妾が一體旦那樣の御氣質を知つて居ながら、お抗辯ひだて致したがわるかつたので御座います』こ、お俊は、淚を拭き拭き雨傘を提げて門口の邊まで立ち出でるこ、入れ違ひに其處へ入つて來たのは、華奢な木綿の仕着せ浴衣の上へ、粋な絽羽子の袢纏を羽織つた一見芝居者らしい壯者であつた。

氣の付いたお芳は、左も急がしさうに手を振る眞似して、瞬目に何事をか云ひ聞かせる。

『然うかね。間がわるいのかね。ぢや出直して來るこ爲やうか。姐さん、幾何か小使を貸しこくれ。』

壯者は、低い低い聲で、斯う云ひながら手拭を差出す。お芳は、困つたさうに帶の間の蟇口を取出し、五圓紙幣一枚を與へた。

此の秘密劇の時間は、ほんのほんの三四分間に過ぎぬのであつたが、奥には久三郎が我鳴り次手の荒々しき調子で、

『お芳、何を玄關先で愚圖々々しこるんだ。そんな奴は、脇花でも撒いて、叩き返して了ふが好いんだ。天下の町川久三郎を、彼奴等は元來何こ心得こるんだ。』

敷居際に竟縮んだ壯者は、それを寃然自分に當て付けて云はれたものこ思ひ僻んだものであらう。お芳の手から紙幣を受取るや否、

『ぢやね、姐さん、都合の好い時が來たら葉書を寄越しこくれ。』こ催輩に云ひ捨てゝ、逃るが如く立ち去つて了つた。

お芳は、魚喰はぬ猫のやうな顏して、座敷へ戻つた。

『旦那、お俊さんこのやらの挨拶は思つたよりも深いやうで御座いますわ。本統に酷い事遊ばしたわね』

『なあに、彼れ位懲らしてやつたら、二度こ再び迎ひには來をらんだらう。』こ、久三郎は、結々揺鉢式を發揮して居る。

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町三丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

◇憂ふ可き數字

―結婚離婚出生死亡―

内閣統計局は大正五年中の本邦地方及び現在地別、婚姻、離婚、生産、死亡、遺兒數、失踪數を發表したり要點左の如し

◇結婚と離婚 四十三萬五千七百五十五件にして前年度に比し一萬千四百十五件を減ぜり之が原因は文化の進展に伴なひ社會經濟的事情に促されたるものなるべく此趨勢は恰も普佛戰後の普魯西の狀態に似たるものあり而して其の低下の比例普魯西より強きは我國には内緣の夫妻あるが爲めにはあらざるか。而も離婚は六萬三千三十六件にして前年に比し三千三十件を增加せり

◇出産と死亡 男九十三萬五千九百四十九人にして前年に比し四千五百七人を增加せり女八十九萬六千九百八十二人前年に比し三千五百三十六人を增加せり我國の生産趨勢は大體普佛戰後の普魯西に酷似す是は果して我國民經濟狀態乃至社會狀態が彼れの轍を踏むの虞あるに因るか今日に於て大に攻究すべき重要問題なり外に死産男女合計十三萬九千九百九十八件あり一方死亡は男六十一萬二千九百九十八件にて前年に比し四萬八千九百四十三人を增加し、女五十八萬九千九百八人にして前年に比し四萬六千七百二十二人を增加せり我國は生産歩合既に頂點に達し今や低下の歩調を取るが如き傾向あるにも拘らず死亡歩合高上の趨勢を取るに至つては誠に由々敷大事なりと云ふべく然も歐洲に於て死亡歩合低下を致したる小兒死亡及び青年死亡者の歐洲に反對して增加し之が爲め總死亡歩合增加するの原因を爲せり之れ最も寒心に堪へず

◇遺兒と失踪 遺兒は男百二十六人女百十八人合計二百四十四人失踪は男五百二十二人女二百五十二人合計七百七十四人あり要するに之等の現象は人口問題に於ける憂ふべき我國の將來を語るものなりと(東京)

製糸季に起る ◇工女の病氣◇

福島縣や長野縣のやうな養蠶地方では是から製絲季節に入るこ工女に色々の病氣が起ります其中で特に工女に共通の病氣は『より』こか『はれもの』こか稱するもので之が非常に多い併し大した事もないので昔から平氣で濟まして居るこれは手指蜂窩織炎といふ病氣で佛蘭西などでは『鍋の病氣』こ命名し濕疹の一種であくの濃い釜、白湯より汚れ易い黄癬に、未だ豫防法とか治療法は研究されて居らぬ、夫から工女病で多いのは胃腸病で之は寄宿舍に居て食慾より外に樂みがなく外出しても何か必ず食ふといふ風で無闇に食る而して運動が不足である其上に三度の食事も急いで丸呑にするから消化の悪いのが當然である

◇美しい新星

…近頃好く見ゆる…

星の光り淡い夏の空に近頃群を拔いて眼立つて光芒を放つ大きな星がある此星は六月初旬に鷲座に發見されたもので一八九九年こ一九〇五年の兩度にフレミング夫人に發見された第一新星こ第二新星こ並べて第三新星こ稱するものらしい。尚此星は明治三十一年六月十九日(一八九八年)に十等乃至十一等の存在が認められ大正四年(一九一五年)にも現はれ今回は六月初旬發見したもの當時は一等星に近い光を持つて居たが其後一時光が減退し七月に入つてから俄に光芒が增し素人でも觀測が出來るさうである

暑さ ―五の日十の日會―

○深紅の背負上げ顯はつきりしてる酷暑 浮碧樓

○暑さも前さんを追ひ歸へさようで 披柳

○煉瓦塀を他所見にできない暑さに耐へて 芹郎

○暑い日の酒ならば飲む親しさ我等 烏堂

○寫眞術通信教授 東京牛込白銀町大日本寫眞學會にては寫眞術速成講義錄を發行して斯道獨習者の爲めに通信教授をなし居れるが學科を普通研究の兩科に分ち通じて六ヶ月卒業さし簡易適切な旨とし實地こ學理こを遺憾なく講述し尚に質疑通信及び寫眞批評講話

◎南洋貿易衰勢

從つて此方面の船腹は昨今多少潤澤となり又對印航路は從來に比し近來動もすれば反對の傾向を示して居ること云ふ迄には至らざるも運賃の如きも漸次低落の姿にて昨今南洋向は噸三十圓乃至三十四五圓こ前年に比し五割方の低落を告げたるは注目すべき現象なるに拘らず近來米國の禁出入勵行の結果こして南洋貿易の前途は悲觀すべき事情に遭遇し英國其他の歐米へ對する輸出困難を極めたる必然の結果こして需要力の減退は著しく減退せるに因るもして輸茉若くは麻茉せるもの勘なからざるに至るべく現に南洋向アルミニユーム加工品其の他の製造業者に[illegible]

▲外國人 四九八人、男一七四人、女三一九人 やうである今年六月其筋の調査に依れば目下の人口は男四萬千五百四十八人女二萬三千八百六十七人合せて[illegible]といふことである尚之れは居住屆を出さぬ者或は其他に轉出した[illegible]

新刊紹介(到着順)

な用して初學者に最も解し易く說明しあるなど内容よく整ひたり(定價三ヶ月分壹圓四十五錢六ヶ月武圓七十五錢見本付郵呈期は申込次第送呈する由

▲日蓮聖人正傳(本田日生著) 日蓮聖人の正傳を本多日生師が執筆して平易に且つ詳細に記述せるものなり普通有觸れたる聖人傳こ異り趣味横溢し面白き事こ痛快なる事は讀者以上にして猶太ら爲に迫つべく殊に高祖遺文錄を通俗的に解釋して明快なる註解を加へ妙法蓮華經宗の眞髓を何人にも解り易く説きたるは此書の特色なるべし(一圓六十錢東京博文館)

▲兒玉大將傳(杉山茂丸著) 兒玉源太郎大將の一生を其日記主が正確に平易に面白く記述せしもの也(一圓五十錢東京日本橋本町三博文館)

▲青年松倉乾二(花岡法學博士著) 日印貿易の犧牲者たる乾二氏の傳なり見たる法學博士花岡敏夫氏が記述したるものなり松倉氏は農商務省海外實業練習生さしてカルカツタに派遣せしめられたるも中途病に罹り二十七歲にして夭折したる前途有望の青年なりし上編に於て松倉氏の本紀を記述し中編以下に於て印度に於ける生活、下編に於て神戸乃武男其他名士の追懐錄を收錄せり(一圓五十錢東京神田表神保町東京堂)

▲愛する子の爲に(大橋渉著) 本書は著者が多年實地に研鑽したる結果を蒐集し以て教育の徹底を期せんとする主旨より著述したるものにして教師の爲父母の爲め極めて有益なる著書なり(八十五錢東京博文館)

▲武侠世界(登山探險臨時號) 誌上を粧ふお花畑の美觀(原色版)を初め内外山嶽の奇勝偉觀の美麗なるカフセツト版及び寫眞版各十數枚の插畫にして讀物は好晴物外…(八月號)

▲婦人世界(八月號) 新渡戸博士の『人格美』『發揮した婦人』堀博士の『人の愛物に於ける婦人の實例』其他宮田女子の『眞の愛』に注ける食物…中村古峽氏の『不思議な宿命』夏季に於ける婦人の服裝衛生問題其他趣味豐富の記事讀物に杉天外『蒙古の情變小説』『家庭教師』は共に好讀物(廿錢東京日本橋區本石町實業之日本社)

讀者の領分

▲謹啓新聞記者に告ぐ 君の希望に副する旨の投書が十人から來て居ますが皆掲載する事が能きませぬか れては如何(本社編輯局)▲今秋は京城本社に自身出掛けし何れかにお決なさら奈良方面に行ける如く杉井の黴を發成して京龍人士の爲め關内に於て杉野な試み度候菌の播發に經驗あるもの又は播發法御承知の御方は本欄へ御通知被下度候(龍山遊園主)▲龍人生に翁ふ明治四十二年徵集の未教育補充兵の簡閱點呼は本年なし手續を要せず但に大正八年度に於て之を行ふ之に關する手續は府、郡廳、憲兵隊、在鄕軍人分會に當部より在鄕軍人心得を發付しあり最寄の所に就き承知あれ(朝鮮軍司令部)▲鐵道株申込に付小生も正當申込者諸氏と同感なり小生の觀察では古記に申込數、千株迄十分の一、二千株迄二十分の一、三千株迄四十分の一四千株迄八十分の一、五千株迄百五十分の一、一萬株迄三百分の一、二萬株迄五百分の一、五萬株迄千分の一夫れ以上二千分一と云ふ樣に割當度願ひ但し申込標準は円外淡の者々には不明に付き當局者にて平な定められたし要は千株以下の申込者のみにて株主に御採用ありたき希望なり之れ以上申込者はプレミヤム目的の投機者が大部分を占むるは推挽す(鐵株申込者)▲觀火大會の場所としては人道橋と鐵橋との中間こそ最適の場所なるに何の爲めにじめじめした叢龍山に移したのですか保の御方に伺奉れます(新龍山生)▲國に本紙に書いた通り御希望に副ふ事にして居ます(係)

清涼

夏を忘るゝ肌心地

薫風起る皮膚の艶

夏の命なり

品質本位

花王石鹸

花王石鹸製造元 長瀨商會 東京馬喰町

香水石鹸 花王石鹸代理店 … 大崎組商會 大阪安土町

日本輸入元 …

最新刊

書名	著者	定價
ゲーリー式の學校		特價七拾五錢
田中貢太郎著 肺病及鑑定法	木谷 新	三三〇
日本植物學案内	初田初野共	七、五〇
兒童教養講習錄	久保良英	一、五〇
戰時利得稅法要義	西 昭晋	一、二〇
書翰文講話及文範	三輪一雄 久保武彥共	一、一〇
物理學汎論 上下	部四郎太	四、八〇
現代の電氣化學工業	柳原榮一	一、八〇
赤木格堂著 獨逸を中心に	定價	八〇
兒玉大將傳	杉山茂丸	一、〇〇
日本武士	田中義成	一、二〇
修訂福澤先生手紙	鈴木梅四郎	一、二〇
熊澤蕃山	若瑞功	一、二〇
日印貿易の犧牲者 青年松倉乾二	花岡敏夫	一、五〇
簡易寫眞のうつし方	大塚直治	六〇
お伽花環	久留島武彥 小林博共	七五
山嶽生活	古田自然子	六〇
日蓮珍話	羽田…昌道	七〇

京城本町 大阪屋號 電話六八四番 二〇八六番 振替京城二五七番

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

司法大臣 松室致閣下題字
京城地方法院所屬 辯護士 法學士 加古貞太郎先生序文
舊韓國財政顧問附 後 官 小笠原寬先生序文
法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂

大正七年一月一日現在正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるもの一目瞭然にして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮清西暦の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戸數、道路里數、各道の廣袤交通、産物名稱舊跡溫泉其他の概況を揭げ本書は官廳執務上を初め政治家實業家學者、交通産業其他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺く可らさる必携書也

發賣元 京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

百円進呈

りん病 ばい毒(藥合請)

▲特製參圓 特製貳圓 並製壹圓廿錢

▲診料十二錢代金引換送料廿一錢▲ 本剤は淋病梅毒主藥は…帝國醫科大學病院に於て治療後、…最も有効と確定し斯界に賞揚されたる高貴藥なるを保證す若し前述の當に違へる點を發見せば分析料百圓進呈

▲あらゆる治療をなすも効無き患者諸君、先に角一度試藥あれ▼

にせ物 東京を始め京城、龍山、仁川、釜山、平壤、元山、大邱其他到る所我商會名を騙り包裝を模造し類似の藥名を附して販賣する者あり有田の文字なき物は凡て偽物なり御注意あれ

有田鑑製 大阪 製造本舖 大阪合資會社ドラッグ商會 東京日本橋北鞘町ドラッグ商會 …

發賣元 京城南大門外停車場通 ドラッグ商會本部 長電話二五六七 振替京城四六七

支店 京城黃金町三丁目電車通◉元山本町龍山漢江通◉平壤櫻町三三◉仁川宮町二丁目◉釜山大廳町二丁目

日本郵船仁川出帆

◎大連、天津牛莊行 相模丸 七月 日
×高砂丸 七月廿九日 船客御斷
酒田丸 七月 日
仁川海岸町二丁目(電話十番) 堀 回漕部

共同汽船 仁川出帆

阿波共同汽船(關東都督府命令船)
大連直行 一共同丸 七月廿九日 後入港
大連にて青島行定期船接續朝鮮鐵道主要驛に對する連絡輸送取扱
京城取次店 …

仁川代理店 野口商會(電話一三五〇番)
元山代理店 阿口同漕(電話…)
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

天候其他の都合により發著日時變更スルコトアルベシ
敦賀行 清津、城津、元山經由
平壤丸 七月 日 元山發
平安丸 七月 日 元山發
浦汐行 大阪、釜山、元山、城津經由
京畿丸 七月 日 元山發
咸鏡丸 八月一日 元山發
雄基行 ×印は江原道各港寄港
元山雄基線 元山、城津、各港寄港
經城丸 七月廿五日 元山發
金剛山遊覽便 元山、長箭、高城
成德丸 七月三十日 釜山發
釜山浦項線 釜山發長水浦、方魚津、九龍浦
江陵丸 毎日 釜山發
濟州島行 …
咸平丸 七月廿八日 釜山發
東廻 西廻 慶興丸 七月廿九日 木浦發
公州丸 七月 日
釜山麗水線 統營丸 毎日 麗水發
巨濟丸
木浦麗水線 順天丸 七月廿八日 木浦發 (以下三日目每ニ木浦發)
多島海行 木浦發多島海各島行
慶興丸 八月二日 木浦發
全州丸 七月廿九日 仁川發
海州行 仁川發江華島喬桐島經由
新江丸 毎日一回 仁川海州發
南陽丸 八月三日 仁川發
鎮南浦行 仁川發各港經由
青島行 仁川發各港經由
山陽丸 七月 日 仁川發
朝鮮鐵道外社外船ト荷客連絡運送ノ便アリ
本社 京城南大門通 電話 一九五 二二一 二三一
釜山支店 釜山港佐藤町
元山出張所 元山港海岸通
仁川代理店 仁川港 堀回漕部
木浦代理店 木浦港 …
京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店 電話長二七〇番
其他各寄港地に荷客取扱店あり

大阪商船 汽船出帆

神戸 大阪行(仁川出帆)
△友康丸 七月 日 後五時出
×安東丸 大連行 月 日 正午出
群山大阪行
西湖津新浦城津行(元山出帆) 八月 日 後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 須磨丸 八月七日 後九時出
上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 八月十二日 前六時出 基隆丸 七月 日 後六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行 毎月一回 北米行 毎月一回
南米行 一年四回 孟買行 毎月二回
濠洲行 毎月一回 南洋行 毎月一回
◉外航所屬汽船の航路詳細は其筋へ問合せられたし…
切符發賣所 仁川港 本町 …
京城 大阪商船株式會社仁川支店 電話…
御注意 …